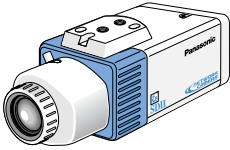
Panasonic

カラーテレビカメラ

取扱説明書

工事説明付き

レンズは別売り品です

品番　WV-NP472

上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、カラーテレビカメラをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

・この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。
・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

はじめに
操作のしかた
設定のしかた
工事説明
仕様・その他

商品概要

本機はネットワーク用の10Base-T/100Base-TX端子(ネットワーク端子)と従来のアナログ映像出力端子(BNC)を装備した監視用カメラです。

・ネットワーク端子を使い、LAN(Local Area Network)やインターネットなどのネットワークに本機を接続することによって、ネットワーク上にあるパーソナルコンピューター(以下PC)でカメラの画像を確認できます。※1

・CCD部および信号処理回路にスーパーダイナミック方式(SUPER-DⅡ)を採用し、スーパーダイナミック未搭載のカメラと比較して、約64倍の高ダイナミックレンジを実現しました。明るい部分から暗い部分まで、より鮮明に撮影できます。

・38万画素　1/3型CCDの採用により、高解像度を実現しました。

・低ノイズ回路設計により、最低照度0.8 lx（F1.4）を実現しました。大口径非球面レンズ（F0.75）を使用すれば、0.4 lxでも撮影可能です。

・低照度時に、カラーから白黒へ切り換わるモードが設定でき、夜間でも鮮明に撮像できます。

・監視エリア内で、侵入者などの動きを感知して、アラーム信号を発報するモーションディテクター機能を搭載しています。※2

※1: PCでカメラの画像を確認する場合、PCのネットワーク環境の設定が必要です。また、インターネット用ブラウザーがインストールされている必要があります。詳しくは次ページ。

※2: モーションディテクター機能は、盗難、火災などを防止するための専用装置ではありません。万一発生した事故や損害に対する責任は一切、負いかねます。

付属品をご確認ください

Cマウントアダプター.....................1
CD-ROM 1
圧着端子..2
取扱説明書 1
保証書..1

必要なPCの環境

本機の設定や操作をPCから行う場合、以下のシステム環境を持つPCが必要です。

OS: Microsoft® Windows® 98 Second Edition、
Microsoft® Windows® 2000 Professional Service Pack2
Microsoft® Windows® Millennium Edition、
Microsoft® Windows® XP、
Microsoft® Windows® NT® Workstation 4.0 Service Pack6a

コンピューター: PC／AT互換機

CPU: Pentium® Ⅱ(300 MHz)以上

メモリ: 128MB以上

インターフェース: つぎに示すネットワークプロトコルをサポートしている10/100MbpsのEthernet®カードが内蔵されていること。
TCP/IP、HTTP、FTP、SMTP、DNS、DHCP

ブラウザー: つぎに示すいずれかのウェブブラウザーがインストールされ、使用できること。
Internet Explorer 5.01SP2、5.5、5.5SP2、6.0
Netscape Communicator® 4.73、4.78

商標および登録商標について

・Adobe、Adobeロゴ、およびAcrobatは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

・Microsoft、Windows、Windows NT、WindowsXPは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

・Netscape, Netscape Navigator, Netscape ONE, Netscape の N ロゴおよび操舵輪のロゴは、 米国およびその他の諸国の Netscape Communications Corporation 社の登録商標です。(一部の国では、登録商標となっています。)

・その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

このドキュメントでは以下の略称を使用しています。
Microsoft® Windows® 98 Second Edition 日本語版をWindows98 SEと表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 Professional ServicePack2 日本語版をWindows2000と表記しています。

Microsoft® Windows® Millennium Edition 日本語版をWindows Meと表記しています。

Microsoft® Windows® NT® Workstation 4.0 ServicePack6a 日本語版をWindows NTと表記しています。

Microsoft® Windows® XP 日本語版をWindows XPと表記しています。

別売り専用レンズのご紹介

品番は2005年2月現在のものです。

品　名		品　番
1/3型CCDテレビカメラ用自動絞りレンズ	超広角	WV-LA2R8C3B
	広角	WV-LA4R5C3B
	標準	WV-LA9C3B
	2倍バリフォーカル	WV-LZA61/2S
	8倍バリフォーカル	WV-LZ62/8S
	15倍電動ズーム	WV-LZ61/15
1/3型CCDテレビカメラ用自動絞り高感度非球面レンズ	超広角	WV-LA210C3
	広角	WV-LA408C3
	標準	WV-LA908C3

・屋外のような照明の明るいところでは、自動絞りレンズ（ALCレンズ）をご使用ください。
・次のような現象が見られるときは、自動絞りレンズ（ALCレンズ）をご使用ください。
　○スポットライトや窓からの光線など、強い照明を受けている被写体に強いスミアやブルーミングが生じる場合。
　○画面のちらつきや色の変化が生じる場合。
・ALCレンズによってはコネクターの加工が必要です。コネクターの加工は、販売店にご依頼ください。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。※
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

※経済産業省の「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

もくじ

はじめに

操作

設定

もくじ

設定

工事説明

仕様・その他

安全上のご注意 （必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に依頼する

工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。

- 必ず販売店に依頼してください。

異物を入れない

禁　止

水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

⚠ 警告

分解しない、改造しない

分解禁止

火災や感電の原因となります。

- 修理や点検は、販売店にご依頼ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる

煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

重量に耐える場所に取り付ける

取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などで、けがの原因となります。

- 取付場所を補強してください。

定期的に点検する

金具やねじがさびると、落下などでけがの原因となります。

- 点検は販売店に依頼してください。

雷のときは工事配線しない

禁　止

火災や感電の原因になります。

使用上のお願い

●カメラを太陽に向けないでください

カメラを使用している、いないにかかわらず、レンズを太陽に向けないでください。

●強い光を撮らないでください

画面の一部分にスポット光のような強い光があると、ブルーミング※1、スミア※2を生じることがあります。

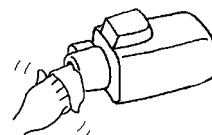
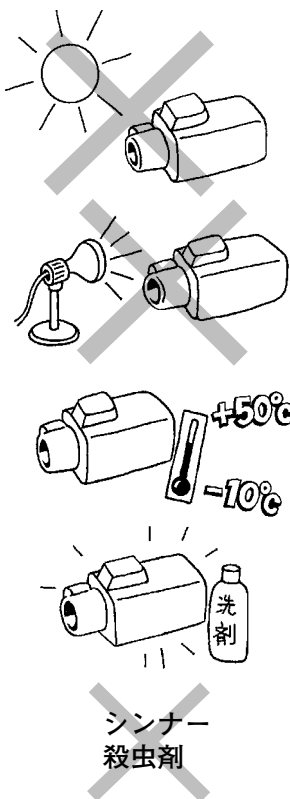
●使用温度範囲を守ってください

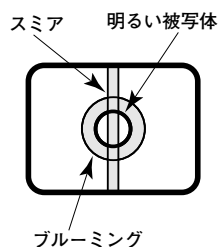
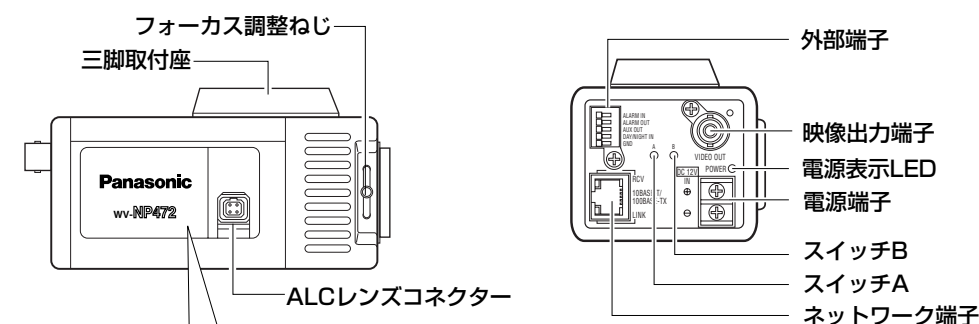
使用温度範囲は、－10 ℃～+50 ℃です。この範囲外での使用は、画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので避けてください。

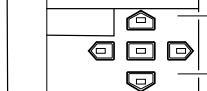
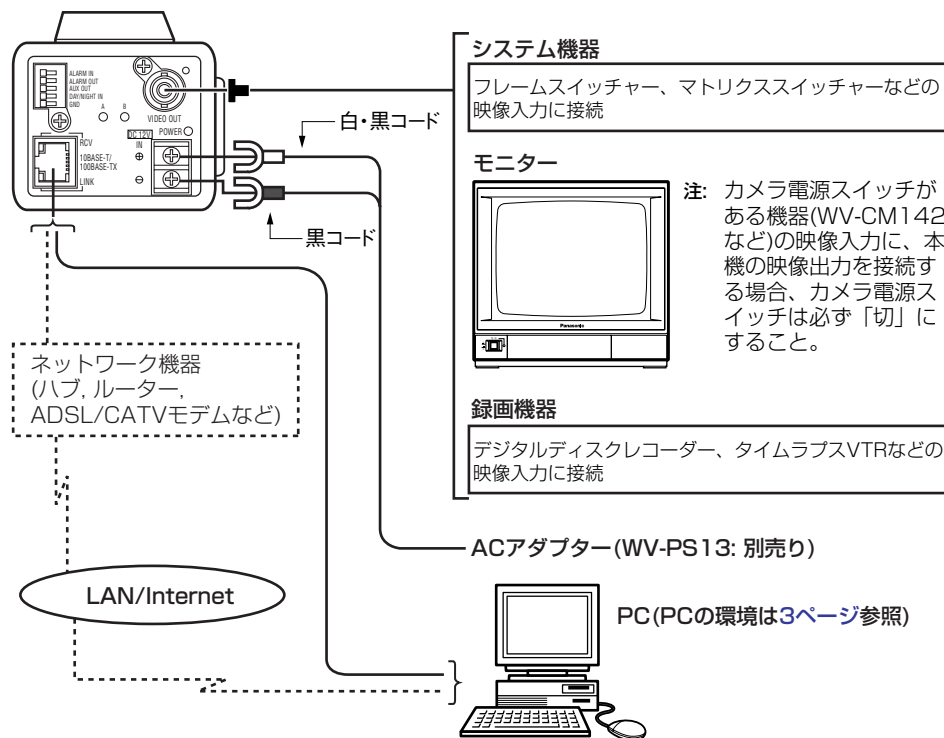
●カメラの外観が汚れたときは

電源を切り乾いた柔らかい布でふいてください。
汚れが取れにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみ込ませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。
ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

●レンズの清掃は

レンズクリーニングペーパー（眼鏡やカメラの清掃に使うもの）で行ってください。溶剤を使用する場合はアルコール類を使用し、ガラスクリーナーやシンナー系のものは使用しないでください。

※1: ブルーミングとは、画面に映っている強い光の周りがにじむ現象。

※2: スミアとは、画面に映っている強い光の上下に縦縞が発生する現象。

各部の名前とはたらき

接続例

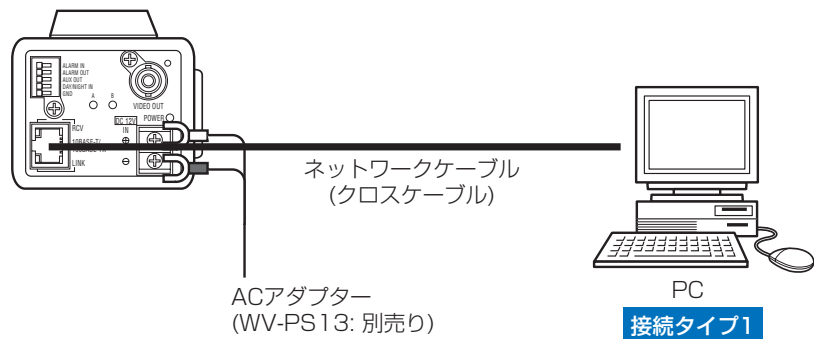
準　備

各機器を接続する前に、まず接続タイプを確認します。どの接続タイプで接続するのか確認してください。

接続を始める前に、接続タイプ別に必要なハードウェアやケーブルを確認し、準備してください。

重要！

本機、ADSL/ケーブルモデム、スイッチングハブ、PCなどネットワーク接続する機器の電源をすべてOFF にするか、電源プラグを電源コンセントから抜いてから接続してください。本機のネットワークアドレスを設定する場合は接続タイプ1または2で接続して、設定することをお勧めします。

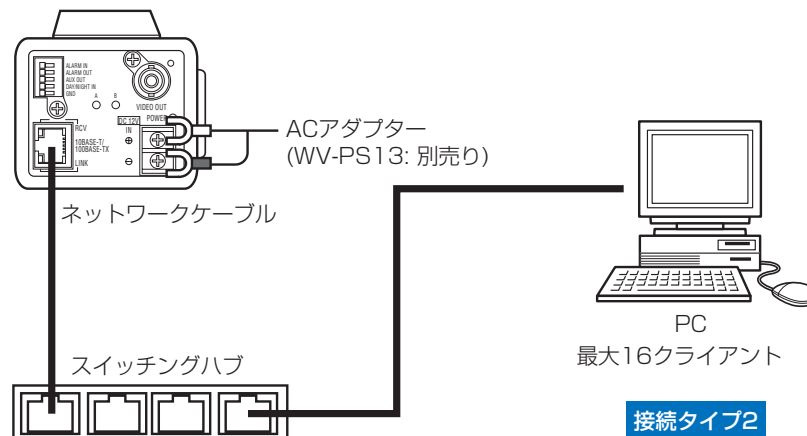
PCと本機を直接接続する（接続タイプ1）

本機とPCを直接ネットワークケーブル(クロスケーブル)で接続します。

<必要なケーブル>
Ethernetケーブル（カテゴリー5、クロスケーブル）

重要！

Ethernetケーブルは必ずカテゴリー5のクロスケーブルを使用してください。

イントラネットに接続する（接続タイプ2）

本機とPCをスイッチングハブ経由で接続します。本機とハブとはネットワークケーブルで接続します。イントラネットには、ハブ経由で接続します。

<必要なハードウェア>
Ethernetスイッチングハブ

<必要なケーブル>
Ethernetケーブル（カテゴリー5）

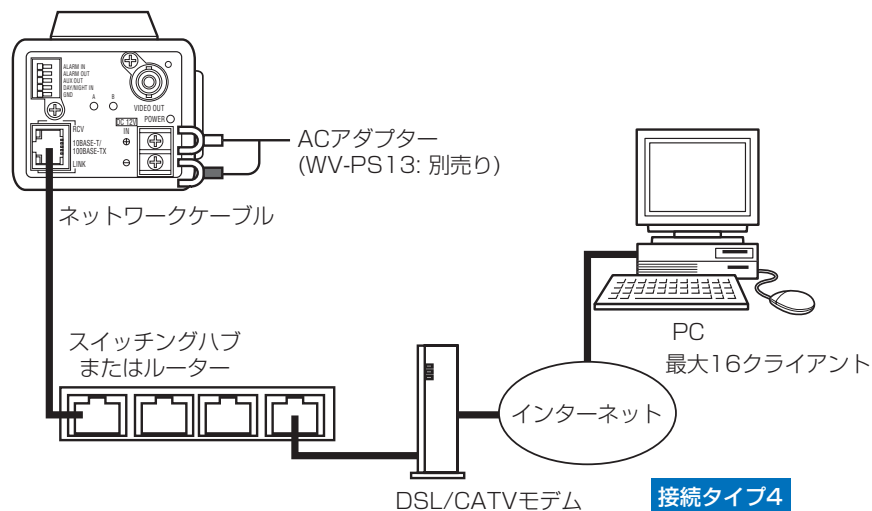
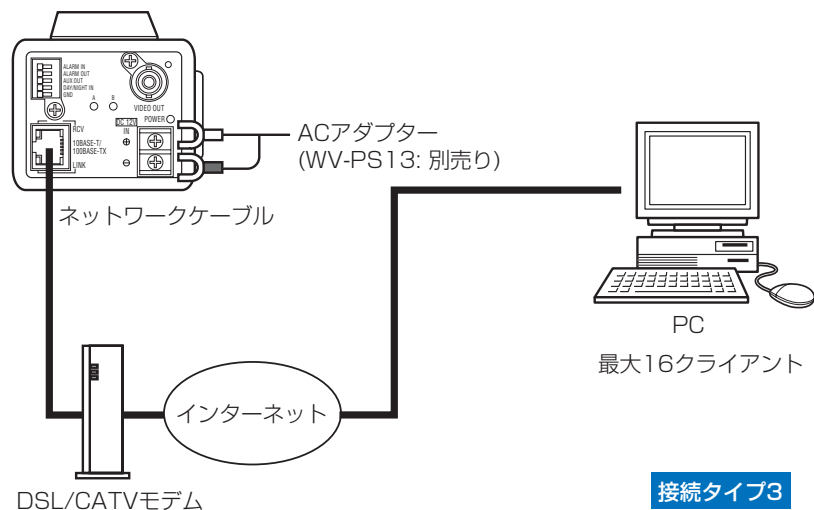
重要！

・ハブまたはルーターは10BASE−T/100BASE−TX対応のスイッチングハブまたはルーターをご使用ください。

・ACアダプターはカメラごとに必要です。

・Ethernetケーブルは必ずカテゴリー5のネットワークケーブルを使用してください。

インターネット経由で接続する（接続タイプ3, 4）

インターネットに接続されているPCから本機にアクセスします。

本機はPPPoEに対応しておりません。
PPPoE接続する場合は、PPPoE対応のルーターを使用してください。
インターネット経由で接続する場合、グローバルIPアドレスを別途取得する必要があります。

<必要なハードウェア>
- CATVモデム(ケーブルモデム)またはDSLモデム
- Ethernetスイッチングハブまたはルーター

<必要なケーブル>
Ethernetケーブル（カテゴリー5）

重要！

・ハブまたはルーターは10BASE−T/100BASE−TX対応のスイッチングハブまたはルーターをご使用ください。

・ACアダプターはカメラごとに必要です。

・Ethernetケーブルは必ずカテゴリー5のネットワークケーブルを使用してください。

・複数のカメラを利用するためには、ルーターの設定が必要です。ルーターの設定についてはルーターの取扱説明書をお読みください。

準　備

接続が完了したら、PCと本機のネットワーク設定を行います。必要に応じて、ネットワーク機能を設定します。

本機をLANやインターネットなどのネットワークに接続し、ネットワークに接続されたPCから本機を操作できるようにするには、ネットワークに関する設定を行う必要があります。ここでは、PCから設定する場合を例に説明します。

補足: 本機のネットワーク設定の一部は、本機側面のボタンで設定することができます(本体側面で設定するには映像出力端子にモニターが接続されている必要があります)。

設定を行う前の準備

ネットワーク設定を行う前に以下の準備を行います。

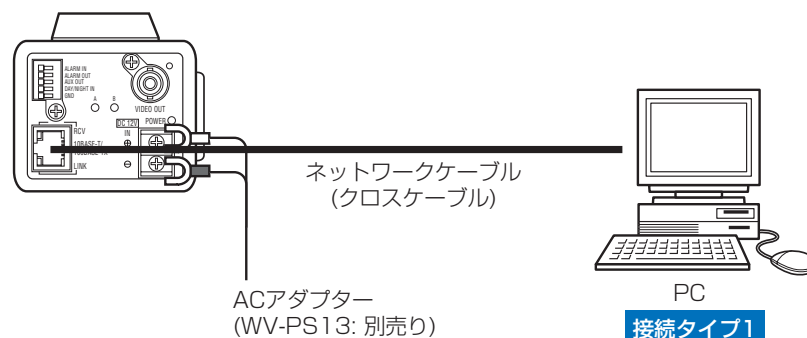
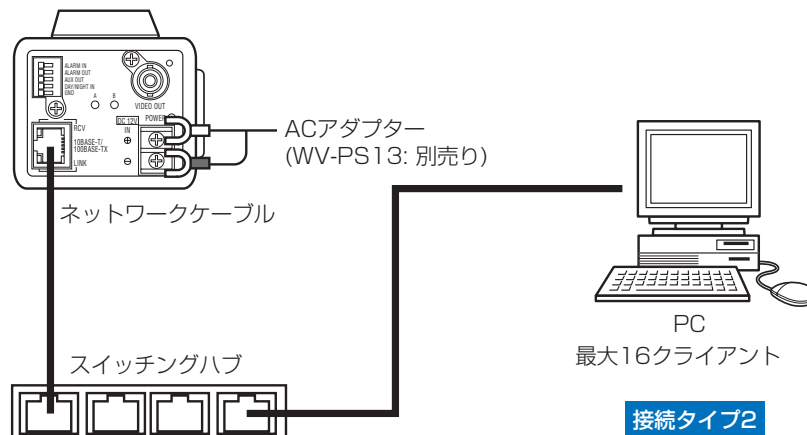
STEP 1

本機とカメラを次ページのいずれかの方法で接続します。

STEP 2

ACアダプター(WV-PS13: 別売り)をコンセントに差し込みます。電源が供給されます。

補足: 本機をネットワークに接続することによって以下の機能が使用できるようになります。

・ネットワーク(ネットワークに接続するための設定)
・動作モード(配信画像の画質を設定)
・アラーム(アラーム機能を使用する場合に設定)
・FTPクライアント(撮影した画像をFTPサーバーに転送する場合に設定)
・ユーザ(ユーザ認証を行う場合に設定)
・ホスト(ホスト認証を行う場合に設定)
・システム(時刻、LEDの点灯/消灯の設定)

補足: 本機のネットワークアドレスを設定するときは、イントラネットに接続されていない状態で行ってください。

PCのネットワーク設定

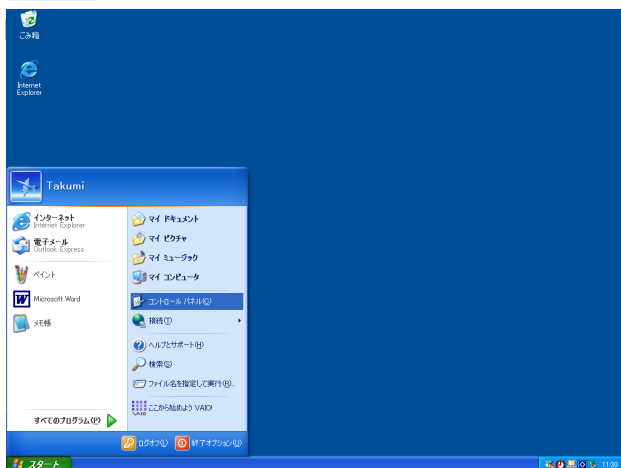
まず、PCのネットワーク設定を行います。PCのTCP/IPの設定を本機の工場出荷時の状態に合わせて変更します。

工場出荷時、本機のネットワーク設定は以下のようになっています。

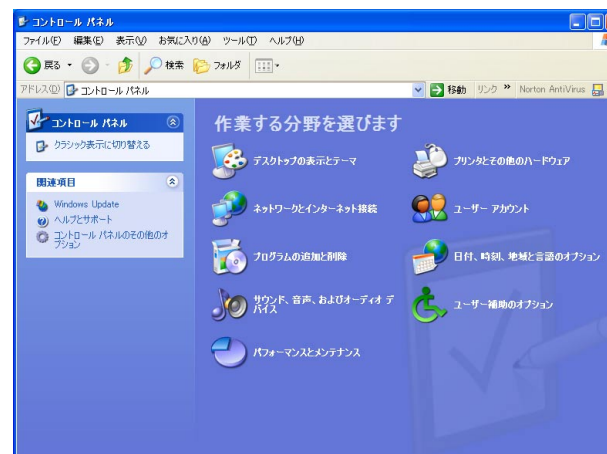
・IPアドレス　　　　　　：192.168.0.10
・サブネットマスク　　　：255.255.255.0
・デフォルトゲートウェイ　：192.168.0.1

本機にアクセスするには、PCのIPアドレスを「192.168.0.XX（XXは1と10を除く2～254のうちいずれか）」に設定する必要があります。

本書では、Windows XPを例に設定方法を説明します。その他のOSをご使用の場合は、該当するOSの取扱説明書をお読みください。

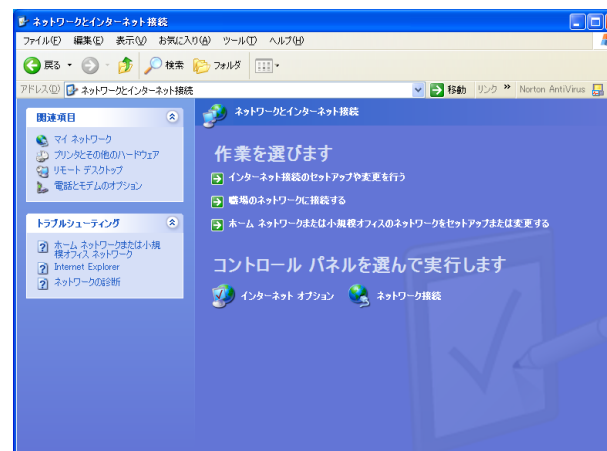
画面1

STEP1

［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。

画面2

STEP2

［ネットワークとインターネット接続］をダブルクリックします。

画面3

インターネット接続画面が表示されます。

STEP3

［ネットワーク接続］をダブルクリックします。

画面4

ネットワーク接続画面が表示されます。

STEP4

［ローカルエリア接続］をクリックし、［ネットワークタスク］の［この接続の設定を変更する］をクリックします。

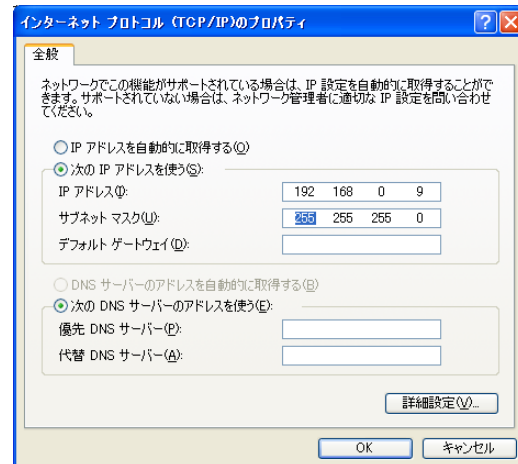
画面5

ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

STEP5

［インターネットプロトコル（TCP/IP)］をクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。

画面6

インターネットプロトコル（TCP/IP）のプロパティ画面が表示されます。

STEP6

［次のIPアドレスを使う］をクリックし、［IPアドレス］と［サブネットマスク］を以下のように設定します。

・IPアドレス：192.168.0.9

・サブネットマスク：255.255.255.0

STEP7

［OK］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

本機のネットワーク設定を行う

PCのネットワーク設定が終了したら、次に本機のネットワーク設定を行います。本機を複数台設定している場合は、カメラごとに行う必要があります。

本機のネットワーク設定を行うには、以下の情報(IPアドレス)が必要になります。ネットワーク管理者やインターネットサービスプロバイダーに確認してください。

・IPアドレス
・サブネットマスク
・ポート番号
・デフォルトゲートウェイ（ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合）
・DNS用プライマリサーバ、セカンダリサーバ（DNSを使用する場合）

補足: DHCPサーバーを使用する場合、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS用プライマリサーバ、セカンダリサーバの情報はDHCPサーバーから取得できます。

画面1

PCを起動した直後の画面から始めます。

STEP1

デスクトップ上などにあるInternet Explorerのアイコンをダブルクリックし、ブラウザーを起動します。

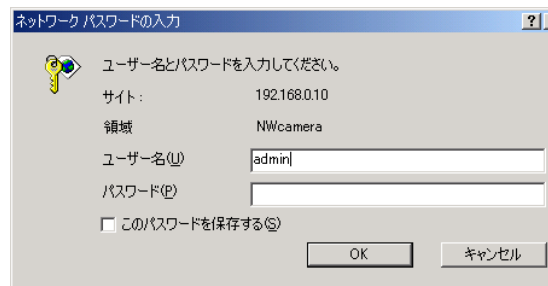
画面2

ブラウザーが起動し、設定されているホームページが表示されます。

STEP2

工場出荷時、本機に設定してあるIPアドレス「192.168.0.10」を[アドレス]ボックスに入力し、ENTERキーを押します。

画面3

認証ウィンドウが表示されます。ユーザ認証機能を「使用しない」(お買い上げ時の状態)に設定されている場合、このウィンドウは表示されません。

STEP3

本機に登録されているユーザ名とパスワードを入力します。

補足: 設定を行う場合、管理者(レベル1)のユーザでログインしてください。管理者以外のユーザでログインすると、[設定画面]または[カメラメニュー]ボタンをクリックしたとき、再度認証ウィンドウが表示されます。このときは、管理者のユーザ名、パスワードで再認証を行ってください。

画面4

トップページが表示されます

STEP4

[設定画面]ボタンをクリックします。

補足: 設定によっては認証ウィンドウが表示されます。初めて使用する場合や認証機能を「使用しない」に設定されている場合、ユーザ名に「admin」を入力し、[OK]ボタンを押してください。

画面5

ネットワーク設定ページが表示されます。

STEP5

ネットワーク設定の各項目を設定します。

設定する内容は接続タイプ）によって異なります。詳細は次ページをお読みください。

STEP6

設定したら、[設定&再起動]ボタンをクリックします。このボタンをクリックせずにウェブブラウザーを終了すると、設定内容はすべて無効になります。

接続タイプ別のネットワーク設定項目について

設定項目	接続タイプ	設定内容
IPアドレス	接続タイプ1	「192.168.0.XX（XXは1とPCに設定されているIPアドレスを除く、2~254の10進数）」を設定してください。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したIPアドレスを設定してください。ただし、PCや他のカメラに設定したIPアドレスと同じIPアドレスは設定できません。 イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。
	接続タイプ3※	プロバイダーが指定したIPアドレスを設定してください。
	接続タイプ4※	ルーターの設定により以下のようになります。 ルーターのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ルーターのDHCP機能を使用しない場合：プライベートIPアドレスを設定。ただし、PCや他のカメラに設定したIPアドレスと同じIPアドレスは設定できません。 詳しくはルーターの取扱説明書をお読みください。

※インターネット経由でカメラにアクセスする場合、固定IPアドレスを設定してください。

設定項目	接続タイプ	設定内容
ネットマスク	接続タイプ1	工場出荷時に設定されている「255.255.255.0」のまま使用します。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したサブネットマスクを設定してください。 ただし、イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。
	接続タイプ3	プロバイダーが指定したサブネットマスクを設定してください。
	接続タイプ4	ルーターの設定により以下のようになります。 ルーターのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ルーターのDHCP機能を使用しない場合：ルーターのサブネットマスクを設定 詳しくはルーターの取扱説明書をお読みください。

設定項目	接続タイプ	設定内容
デフォルトゲートウェイ	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者が指定したデフォルトゲートウェイアドレスを設定してください。 ただし、イントラネットでDHCP機能を使用しているときは、設定の必要はありません。
	接続タイプ3	プロバイダーが指定したデフォルトゲートウェイアドレスを設定してください。
	接続タイプ4	ルーターの設定により、つぎのようになります。 ルーターのDHCP機能を使用する場合：設定不要 ルーターのDHCP機能を使用しない場合：ルーターのIPアドレスを設定 詳しくはルーターの取扱説明書をお読みください。
ホスト名	接続タイプ1	設定する必要はありません。
	接続タイプ2	ネットワーク管理者に確認し、必要であれば指定されたホスト名を設定します。
	接続タイプ3、4	プロバイダに確認し、必要であれば指定されたホスト名を設定します。

準備

準　備

設定項目	接続タイプ	設定内容
通信速度	全接続タイプ共通	データの通信速度を設定します。工場出荷時に設定されている「自動設定」のままにしておいてください。 設定できる値：自動設定、 100Mbps（全二重）、 100Mbps（半二重）、 10Mbps（全二重）、 10Mbps（半二重）
HTTPポート	接続タイプ1, 2, 3	工場出荷時に設定されている「80」のまま使用します。
	接続タイプ4	本機を複数台使用する場合、個別に設定する必要があります。 ただし、同じネットワークに接続している機器と同じポート番号は使用できません。 また、以下のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。 ポート番号：20、21、23、25、53、67、68、80、546、547、 FTPサーバーに画像を転送する場合は、40000～50000、独自アラームを使用する場合は、独自アラームで使用するポート番号も使用できません。
DNS	接続タイプ1	「OFF」に設定します。
	接続タイプ2, 3, 4	DNSサーバーを使用する場合は、「ON」に設定します。

設定項目	接続タイプ	設定内容
プライマリサーバ	接続タイプ1	設定する必要はありません。
セカンダリサーバ	接続タイプ2, 3, 4	DNSサーバーを使用する場合は、DNSサーバーのIPアドレスを設定します。 DNSサーバーのIPアドレスはプロバイダーに確認してください。DNSはプライマリサーバ、セカンダリサーバが設定できます。
DHCP	接続タイプ1	「OFF」に設定します。
	接続タイプ2	イントラネットのDHCP機能を使用するときは「ON」に設定します。
	接続タイプ3	「OFF」に設定します。
	接続タイプ4	ルーターのDHCP機能を使用するときは、「ON」に設定します。

補足: DHCPサーバーが存在しない環境で、誤ってDHCP機能を「ON」にしたときは以下の手順でIPアドレスを変更してください(以下のコマンドを実行すると、DHCP機能は「OFF」になります)。

1. 本機を接続タイプ1または2で接続します。
2. 本機を接続したコンピューター(または同一ハブ/ルーター上にあるPC)のDOSプロンプトを起動します。
3. 以下の順番でコマンドを実行し、本機のIPアドレスを変更します。

   arp_-s_本機の変更後のIPアドレス_本機のMACアドレス※
   ping_-t_本機の変更後のIPアドレス

   IPアドレスの変更が成功すると、Replyメッセージが表示され続けます(失敗した場合はTime outメッセージが表示され続けます)。Ctrlキーを押しながらCキーを押すと、コマンドを停止できます。

※　本機のMACアドレスは機器上面で確認できます。メモなどに書き留め保管してください。

注　上記コマンドは同一サブネット内にあるカメラのIPアドレスのみ変更できます。また、本機のDHCPが「ON」でDHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合にのみ変更できます。
アンダーライン(__)は空白文字を意味します。

表示用プラグインソフトウェアをインストールする

動作モード設定ページの「ライブ画像配信モード」を「MJPEG（IE専用）」に設定すると、ライブ画像を動画のように表示することができます。そのためには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View」をインストールする必要があります。

付属のCD-ROMをPCのCD-ROMドライブに挿入し、CD-ROM内にある「Setup.exe」をダブルクリックします。インストーラーが起動するので、画面の指示に従ってインストールします。

補足
- 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View」はInternet Explorer専用です。その他のブラウザーでは使用できません。
- PCの画面設定はTrue color 24ビット以上に設定してください。

アンインストールする場合は、以下の手順で行います。

<Windows XPの場合>

1. ［スタート］－［コントロールパネル］を選択します。
   →コントロールパネルが開きます。
2. ［プログラムの追加と削除］をダブルクリックします。
3. 「Network Camera View」を選択し、［削除］ボタンをクリックします。
4. 以降、画面の指示に従ってアンインストールの作業を行います。

<Windows XP以外の場合>

1. ［スタート］－［設定］－［コントロールパネル］を選択します。
   →コントロールパネルが開きます。
2. ［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。
3. 「Network Camera View」を選択し、［変更／削除］ボタンをクリックします。
4. 以降、画面の指示に従ってアンインストールの作業を行います。

操作を行う前に

本機の操作方法には以下の2とおりがあります。

- **PCから操作する**

  本機をネットワークに接続すると、PCで本機の画像を確認したり、設定メニューを操作して本機の機能を設定したりできます。

  操作に必要なPCの環境は3ページをご覧ください。

  補足: あらかじめ本機およびPCのネットワーク環境が設定されている必要があります。

- **システム機器から操作する**

  マトリクススイッチャーやフレームスイッチャーなどのシステム機器に接続し、操作します。システム機器によっては別途コントローラーが必要な場合があります。

補足: 本書では、PCから操作する方法について説明しています。システム機器から本機を操作・設定する場合はシステム機器の取扱説明書をお読みください。

機能		PC(ネットワーク接続)	システム機器※1
操作	ズーム(当社電動ズームレンズ装着時)	×	○
	フォーカス	×	○
	絞り(当社ALCレンズ装着時)	○	○
	カラー白黒切り換え	○	○
	AUX端子制御(本機後面)	○	×
	アラーム履歴の確認・画像確認	○	×
設定操作	カメラ機能(カメラメニュー)	○	○※2
	ネットワーク設定(カメラメニュー)	○	○※2
	ネットワーク設定(HTML)	○	×
	動作モード設定(HTML)	○	×
	アラーム設定(HTML)	○	×
	FTPクライアント設定(HTML)	○	×
	ユーザ設定(HTML)	○	×
	ホスト設定(HTML)	○	×
	システム設定(時刻・受信/接続表示LED)(HTML)	○	×

※1: システム機器によっては、別途システムコントローラーが必要です。
※2: システム機器(システムコントローラー含む)および本機側面の設定ボタンで設定できます。

画像を見る

ネットワークの設定が完了したら、本機が配信する画像を見ることができます。

準備

動作モード設定ページで、本機が配信する画質などの設定を行います。

画面1

ネットワーク設定ページを表示します。

STEP1

[動作モード]をクリックします。

画面2

動作モード設定ページが表示されます。

STEP2

画像に関する設定を行います。

[画像更新速度]
画像を更新する速度を以下から選択します。[ライブ画像配信モード] で「JPEG」を設定している場合のみ有効です。

Fast/Middle/Slow/Very Slow

画像を見る

[ライブ画像解像度]
画像の解像度を以下から選択します。

640×480/640×240(ブラウザーでの表示サイズは640×480となります)/320×240/160×120

[ライブ画画質]
画質を以下から選択します。

Super Fine/Fine/Normal/Rough

[配信量制御]
配信量を以下から選択します。
32 Kbps/64 Kbps/128 Kbps/256 Kbps/512 Kbps/1024 Kbps/2048 Kbps/制限なし

設定したら［設定&再起動］ボタンをクリックします。

STEP3

[ライブ画像配信モード]
カメラのライブ画像を配信するモードを以下から選択します。
MJPEG（IE専用）：ライブ画像を動画のように連続配信します。

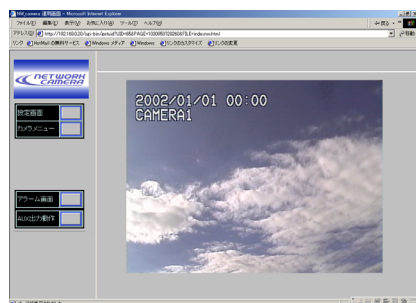
JPEG：ライブ画像を画像更新速度で設定した間隔で配信します。

補足：「MJPEG（IE専用)」で動作させるためには、付属のCD-ROMに入っている表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View」をインストールする必要があります。（→32ページ）

STEP4

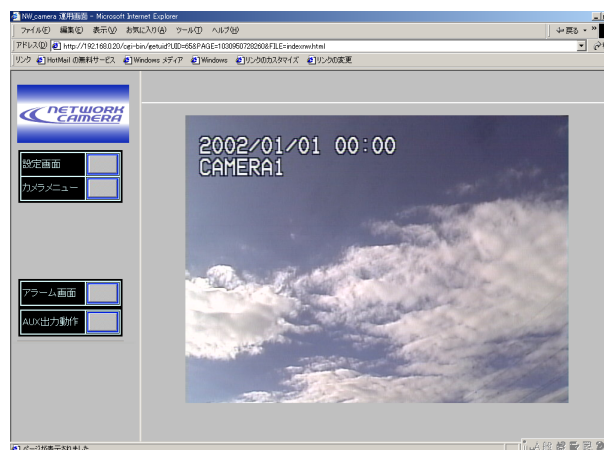
設定したら、［設定］ボタンをクリックします。

操作のしかた

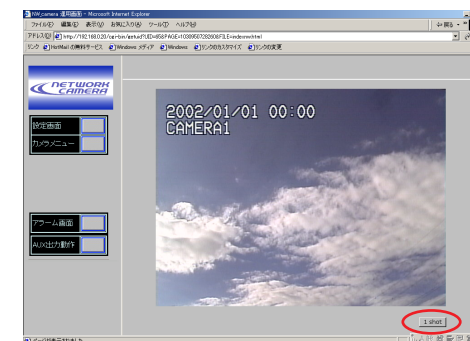
[運用画面]ボタンをクリックします。または、本機のIPアドレスをウェブブラウザーの[アドレス]ボックスに入力します。画像が表示されます。

今見ている画像をPCに保存する

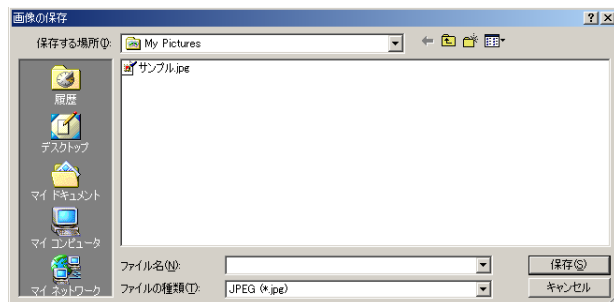
今、見ている画像を静止画像として、PCに保存します。

画面1

トップページを表示します。

STEP1

画像の上にカーソルをあわせ、右クリックし、[名前を付けて画像を保存]を選択します。

動作モード設定ページの[ライブ画像配信モード]を「MJPEG（IE専用)」に設定している場合、画面右下に[1shot]ボタンが表示されます（1画面表示時のみ)。このボタンをクリックすると、本手順で画像を保存できます。

画面2

画像の保存画面が表示されます。

STEP2

[ファイル名]に画像の名前を入力します。

STEP3

保存する場所を選択しファイル名を入力したら[保存]ボタンをクリックします。

アラーム機能を使用する

本機は、アラーム入力端子を装備しています。アラーム入力端子にセンサーなどのアラーム機器を接続すれば、アラーム機器が動作したとき、アラーム発生日時を記録し、以下の動作を行うよう設定することができます。

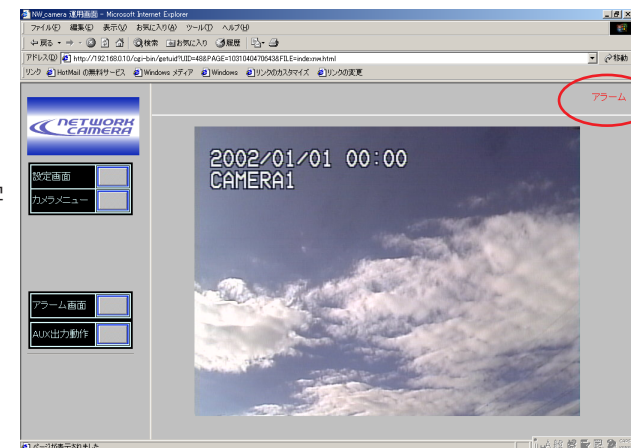
・トップページ上に「アラーム」の文字を表示する。
・撮影画像をカメラに保存したり、Eメールでアラーム発生を通知する。
・カメラ内に保存した画像を自動的にサーバーへ転送する。
・映像出力端子に接続された機器にアラームを通知する。
・アラームが発生したことを指定したIPアドレスに通知する(独自アラーム)。
・アラーム出力端子から出力する。

同様に、画像の動きを検知し、アラーム機器の動作と同じように本機を動作させることができます。この機能をモーションディテクター機能と呼びます。

アラーム発生時の動作について

アラーム発生時、以下のような動作を行うよう設定することができます。

・画面上に「アラーム」の文字を表示して、アラームが発生したことを知らせる

補足:「アラーム」の文字は30秒に1回更新されます。このため、アラーム発生後、トップページに文字が表示されるまで最大30秒の遅延が発生する場合があります。

・その場所の画像をカメラに保存する

撮影した画像を静止画で保存します。
保存可能枚数：1アラームあたり最大40枚（直前の画像：20枚、直後の画像：20枚）

アラーム機能を使用する

最大画像保存枚数：解像度とライブ画の画質によって異なります。最大保存枚数を超えた場合、古い画像から順に削除されます。

アラーム発生直前の画像を20枚保存する場合

解像度	画　質			
	Supre fine	Fine	Normal	Rough
640×480	45	71	93	109
640×240	111	162	206	238
320×240	242	344	433	496
160×120	242	344	433	496

アラーム発生前の画像を保存しない場合

解像度	画　質			
	Supre fine	Fine	Normal	Rough
640×480	65	91	113	129
640×240	131	182	226	258
320×240	262	364	453	516
160×120	262	364	453	516

補足: 上記表に示す保存可能枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。

・**Eメールを送って通知する**

アラームの発生とその日時を知らせるEメール(アラームメール)を、あらかじめ登録してあるアドレスに送信します。その際、画像を1枚添付して送信することもできます。送信先は4件まで登録することができます。アラームメールの内容はカスタマイズすることもできます。アラームメールには以下のようにカメラ内に保存されたアラーム画像へのリンクアドレスが表示されます。

xxx(送信者名)でアラームが発生しました。
発生日時:xxxx. xx. xx　xx:xx:xx (例2002.07.24　12:00:00)
アラーム画像数:nn(本機内部に保存された画像枚数)
アラーム画像URL:http://(カメラのIPアドレス)/ALMxxxx_00.jpg

Eメールで通知されるURLは、本機に固定IPアドレス（グローバルIPアドレス）が設定されている場合に有効です。本機にプライベートIPアドレスが設定されている場合、同一サブネット内にあるPCからのみEメールで通知されたアドレスでアクセスすることができます。ただし、アラームが多発した場合、Eメールで通知された画像が既に削除されていることがあります。

補足: Eメールには1枚目の画像(ALMxxxx_00.jpg)のURLが送信されます。
複数枚保存するよう設定されている場合、「00」部を変えることによって他の画像を見ることができます(40枚目の画像を確認したいときは、http://(カメラのIPアドレス)/ALMxxxx__39.jpgをウェブブラウザーのアドレスボックスに入力します)（16進数表示です。）
画像のファイル名は以下のように付与されています。

1枚目の画像	：ALMxxxx_00.jpg	2枚目の画像	：ALMxxxx_01.jpg
3枚目の画像	：ALMxxxx_02.jpg	4枚目の画像	：ALMxxxx_03.jpg
5枚目の画像	：ALMxxxx_04.jpg	6枚目の画像	：ALMxxxx_05.jpg
7枚目の画像	：ALMxxxx_06.jpg	8枚目の画像	：ALMxxxx_07.jpg
9枚目の画像	：ALMxxxx_08.jpg	10枚目の画像	：ALMxxxx_09.jpg
11枚目の画像	：ALMxxxx_0A.jpg	12枚目の画像	：ALMxxxx_0B.jpg
13枚目の画像	：ALMxxxx_0C.jpg	14枚目の画像	：ALMxxxx_0D.jpg
15枚目の画像	：ALMxxxx_0E.jpg	16枚目の画像	：ALMxxxx_0F.jpg
17枚目の画像	：ALMxxxx_10.jpg	18枚目の画像	：ALMxxxx_11.jpg
19枚目の画像	：ALMxxxx_12.jpg	20枚目の画像	：ALMxxxx_13.jpg
21枚目の画像	：ALMxxxx_14.jpg	22枚目の画像	：ALMxxxx_15.jpg
23枚目の画像	：ALMxxxx_16.jpg	24枚目の画像	：ALMxxxx_17.jpg
25枚目の画像	：ALMxxxx_18.jpg	26枚目の画像	：ALMxxxx_19.jpg
27枚目の画像	：ALMxxxx_1A.jpg	28枚目の画像	：ALMxxxx_1B.jpg
29枚目の画像	：ALMxxxx_1C.jpg	30枚目の画像	：ALMxxxx_1D.jpg
31枚目の画像	：ALMxxxx_1E.jpg	32枚目の画像	：ALMxxxx_1F.jpg
33枚目の画像	：ALMxxxx_20.jpg	34枚目の画像	：ALMxxxx_21.jpg
35枚目の画像	：ALMxxxx_22.jpg	36枚目の画像	：ALMxxxx_23.jpg
37枚目の画像	：ALMxxxx_24.jpg	38枚目の画像	：ALMxxxx_25.jpg
39枚目の画像	：ALMxxxx_26.jpg	40枚目の画像	：ALMxxxx_27.jpg

・**保存した画像をサーバーへ転送する**

カメラに保存した画像をあらかじめ指定したサーバーへ送信します。

操作・設定

・指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する(独自アラーム)

この機能は、当社製サーバーソフトウェア(WV-AS710Aなど)をご使用の場合有効な機能です。独自アラームを「使用する」に設定すれば、サーバーソフトウェアに、本機がアラーム状態にあることを通知し、独自の動作を行わせることができます。詳しくはサーバーソフトウェア付属のPDFマニュアルをお読みください。

・「アラーム」の文字を消す

アラームが発生したとき、トップページに「アラーム」の文字が表示されます。この文字は、以下の操作で消すことができます。

・アラーム一覧ページを表示した後、[運用画面]ボタンをクリックしてトップページに戻る

・各種設定ページを表示した後、[運用画面]ボタンをクリックしてトップページに戻る

モーションディテクター機能について

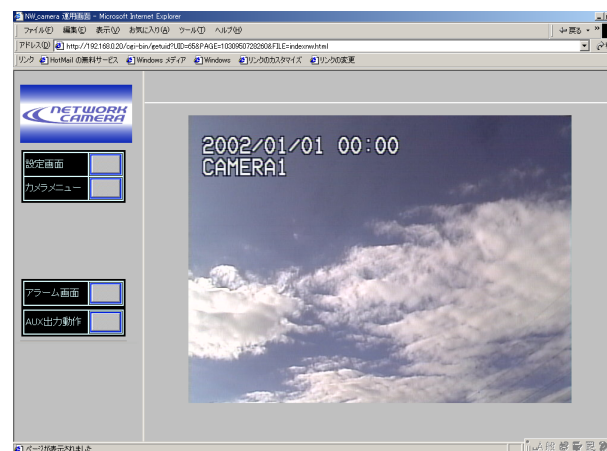
指定した範囲内の画面の動き(輝度変化)をとらえ、アラーム信号を出力します。本機では動きを検出したときに、その場所の画像を保存したり、メールを送信するよう設定することができます。

検出範囲などモーションディテクターが機能する条件はカメラ機能設定メニューで行います。

モーションディテクターの検出範囲を設定する

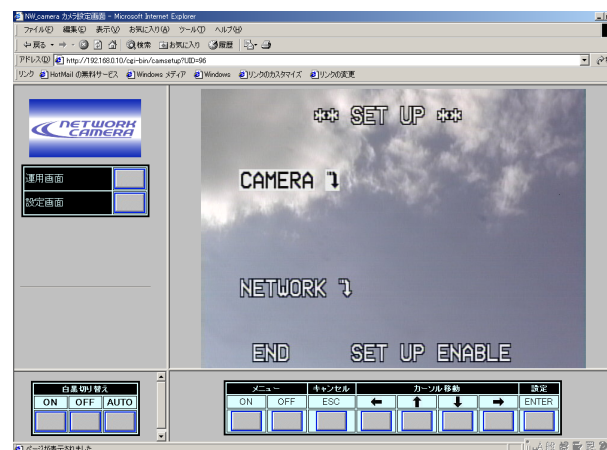
動きを感知したときの動作を設定します。始めに、感知エリアから除外したい部分をマスクし、その後、感知レベルの設定を行います。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

[カメラメニュー]ボタンをクリックします。

画面2

撮影画像の上に、カメラメニューが表示されます。

STEP2

「メニュー」の[ON]ボタンをクリックします。

STEP3

[ENTER]ボタンをクリックします。

アラーム機能を使用する

画面3

カメラ機能設定メニューが表示されます。

STEP4

[⬇]ボタンをクリックし、「MOTION DET」の「ON⤵」を反転表示にします。

「OFF⤵」が表示されているときは、[➡]ボタンを押して、「ON⤵」にします。

STEP5

[ENTER]ボタンをクリックします。

画面4

MOTION DETECTメニューが表示されます。

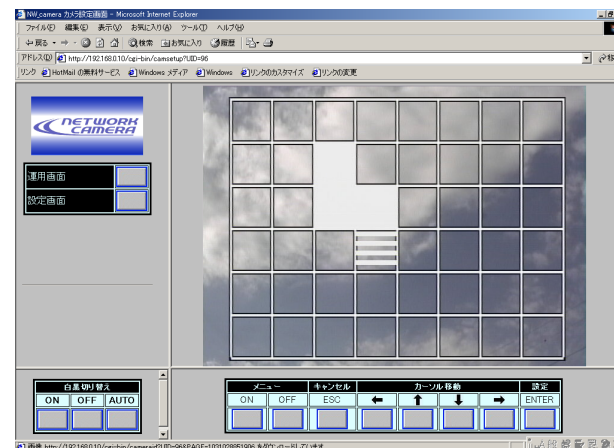
STEP6

[⬇]ボタンをクリックし、MASK SETを反転表示にします。

STEP7

[ENTER]ボタンをクリックします。

画面5

マスク設定メニューが表示されます。

STEP8

検出エリアから除外したい区画に点滅表示を移動します。

既にマスクがかけられている区画に点滅表示を移動すると、横縞と白の交互表示になります。

点滅表示は[⬅]または[➡]ボタンで移動できます。

STEP9

[ENTER]ボタンをクリックします。

点滅表示の区画にマスクが設定されます。マスクした区画は、白色で表示されます。

既にマスクされた区画に点滅表示を移動し、[ENTER]ボタンをクリックするとマスクが解除されます。

STEP10

STEP8とSTEP9を繰り返し、除外したい区画をマスクします。

操作・設定

アラーム機能を使用する

STEP11

MOTION DETECTメニューに戻るときは、[ESC]ボタンをクリックします。

MOTION DETECTメニューに戻り、デモモード(DISPLAY MODE"↓)にすると、マスク範囲が妥当かどうか確認できます。

STEP12

「DISPLAY MODE"↓」を反転表示にします。

画面6

点滅表示(動き検知区画)

STEP13

[ENTER]ボタンをクリックします。

デモモードに変わります。

画面が48の区画に区切られます。

デモモードの間、動きを検知した区画が点滅します(画面6)。

デモモードで、アラーム機器の動作を確認するときは、ALARMの項目をONにします。

動きのある区画を確認後、[ENTER]ボタンをクリックします。デモモードを終了し、MOTION DETECTメニューに戻ります。

STEP14

「LEVEL」を反転表示にします。

STEP15

[⬅]または[➡]ボタンで感知レベルを調整します。「+」方向に動かすと、感知レベルがあがります。「-」方向に動かすと、感知レベルが下がります。STEP6～15を繰り返して、最適のレベルに調整します。

STEP16

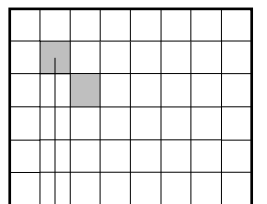
CAM SET UPメニューに戻るときは、RETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。設定を終了するときは、[OFF]ボタンをクリックします。

アラーム発生時の動作を設定する

アラーム発生時の動作を設定します。設定はアラーム設定ページで行います。

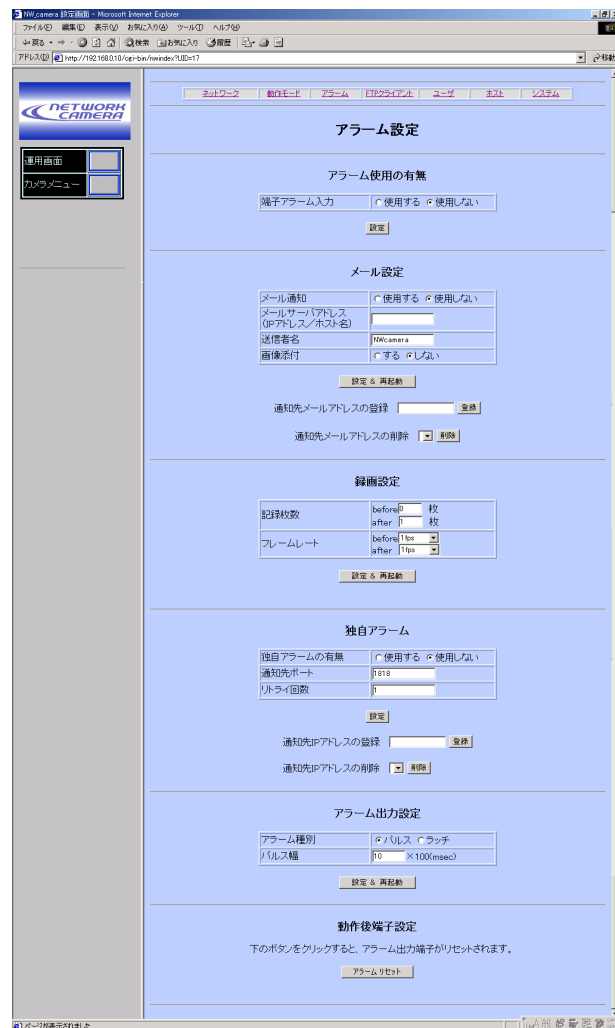
画面1

ネットワーク設定ページから操作します。

STEP1

「アラーム」をクリックします。

アラーム機能を使用する

画面2

アラーム設定ページが表示されます。

STEP2

アラームに関する設定を行います。
各項目の設定内容など詳細は次ページをお読みください。

STEP3

「アラーム使用の有無」または「独自アラーム」を設定したら[設定]ボタンをクリックします。
「メール設定」、「録画設定」、または「アラーム出力設定」を設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

設定項目について

[アラーム使用の有無]

[端子アラーム入力]
外部端子のアラーム入力を使用するかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

設定したら[設定]ボタンをクリックします。

[メール設定]

[メール通知]
アラームが発生したときにメール通知を行うかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

[メールサーバアドレス]
メールサーバアドレスを入力します。ネットワーク設定でDNSを「使用する」に設定している場合、ホスト名.(ピリオド)ドメイン名(半角英数字128文字以内)を入力できます。

[送信者名]
送信元の名称を半角英数字128文字以内で入力します。

[画像添付]
アラームが発生したとき送信するメールに画像を添付するかどうかを「する/しない」で設定します。

[設定&再起動]
[メール設定]の項目を設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

[通知先メールアドレスの登録]
通知先のメールアドレスを設定します。設定したら[登録]ボタンをクリックします。通知先として4つまでのアドレスを登録できます。

[通知先メールアドレスの削除]
[▼]ボタンをクリックして、通知先として登録されているアドレスを確認できます。[削除]ボタンをクリックすると選択した通知先アドレスを削除できます。

[録画設定]

[記録枚数]
before: アラーム発生直前の画像の記録枚数を設定します。0〜20枚で設定できます。

after: アラーム発生時の画像の記録枚数を設定します。1〜20枚で設定できます。

[フレームレート]
保存する画像のフレームレートを設定します。短時間でできるだけ沢山の画像を記録したい場合は、数値を大きくします。

before: アラーム発生直前の画像の記録するときのフレームレートを設定します。以下から設定します(単位fps)。
1/10, 1/5, 1/3, 1/2, 1, 2, 3.3, 5

after: アラーム発生時の画像の記録枚数のフレームレートを設定します。以

下から設定します(単位 fps)。
1/10, 1/5, 1/3, 1/2, 1, 2, 3.3, 5, 10

[設定&再起動]
[録画設定]の項目を設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

[独自アラーム]

[独自アラームの有無]
独自メールに対応した当社指定サーバーソフトウェア(WV-AS710Aなど)にアラームを通知するかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

[通知先ポート]
アラーム通知に使用するポート番号を設定します。

[リトライ回数]
サーバーから応答がなかった場合の再試行回数を設定します。

[設定]
[独自アラーム]の項目を設定したら[設定]ボタンをクリックします。

[通知先IPアドレスの登録]
通知先サーバーのIPアドレスを設定します。設定したら[登録]ボタンをクリックします。

[通知先IPアドレスの削除]
[▼]ボタンをクリックして、通知先として登録されているサーバーのIPアドレスを確認できます。[削除]ボタンをクリックすると選択した通知先IPアドレスを削除できます。

[アラーム出力設定]

[アラーム種別]
外部端子のアラーム出力端子から出力するアラーム出力種別を「パルス/ラッチ」で設定します。

パルス: アラームが発生したとき、[パルス幅]に指定した時間のパルスを出力します。

ラッチ: アラームが発生したとき、下にある[アラームリセット]ボタンをクリックするまで、ON状態になります。

[パルス幅]
アラーム種別でパルスを選択したときに、パルス幅を設定します。1～100(×100ミリ秒)まで設定できます。

[設定&再起動]
設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

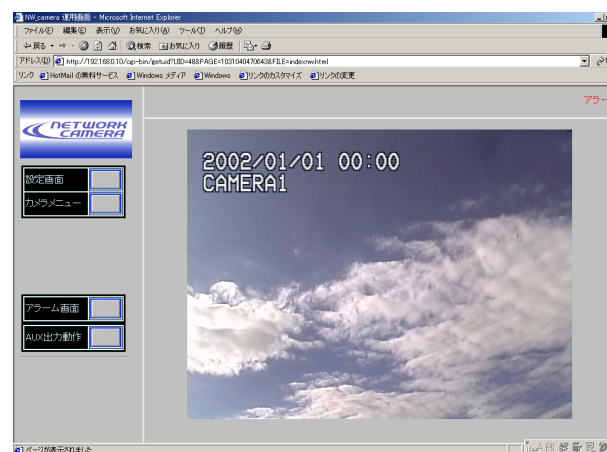
[動作後端子設定]

[アラームリセット]
外部端子のアラーム出力の状態をリセットするときクリックします。

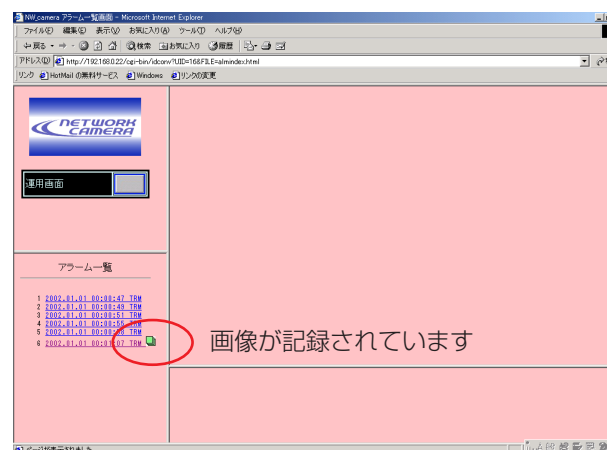
保存された画像を見る

アラーム発生によって本機に保存された画像を確認します。操作はアラーム一覧ページで行います。アラーム一覧からトップページに戻ると「アラーム」の文字は消えます。

画面1

トップページから操作します。

STEP1
[アラーム画面]ボタンをクリックします。

画面2

アラーム一覧ページが表示されます。

STEP2
「アラーム一覧」から見たいアラームの発生時刻をクリックします。

補足: アイコンが付加されていない発生時刻をクリックしても記録した画像は見られません。アラーム一覧には100件までのアラーム発生日時が表示されます。100件を超えた場合は古いものから削除されます。

アラーム機能を使用する

画面3

記録されている画像が表示されます。

STEP3

画像を複数枚記録するよう設定されている場合、アラーム画像コントロールパネル」のボタンで記録された画像を操作します。

[先頭の画像]
選択した日時に記録された、先頭の画像を表示します。

[コマ戻し]
1つ前の画像を表示します。

[アラーム直後の画像]
アラーム発生直後の画像を表示します。

[コマ送り]
1つ後ろの画像を表示します。

[最後の画像]
選択した日時に記録された、最後の画像を表示します。

STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

重要

・アイコンが付加されてても画像が表示されないことがあります。これは、新しいアラームが発生し、該当アラームの画像が削除されているためです。ウェブブラウザーの更新ボタンを押して、ウェブページを最新の状態にしてください。

・操作ボタンをクリックし、操作できないときは、アドレスボックスに本機のIPアドレスを再入力してください。

・アイコンが付加されている発生時刻をクリックして記録された画像を表示できないときは、アドレスボックスに本機のIPアドレスを再入力し、STEP1からやり直してください。

画像をサーバーに転送する

カメラで撮影した画像をサーバーに転送します。サーバーへの転送は、以下の2つを設定できます。

・監視範囲内に動きを感知した、または外部端子に接続したアラーム機器が動作したときときに画像を転送

・時間間隔を指定して定期的に画像を転送

サーバーへ画像を転送するにはあらかじめ、設定が必要です。

画像を転送するための準備

画面1

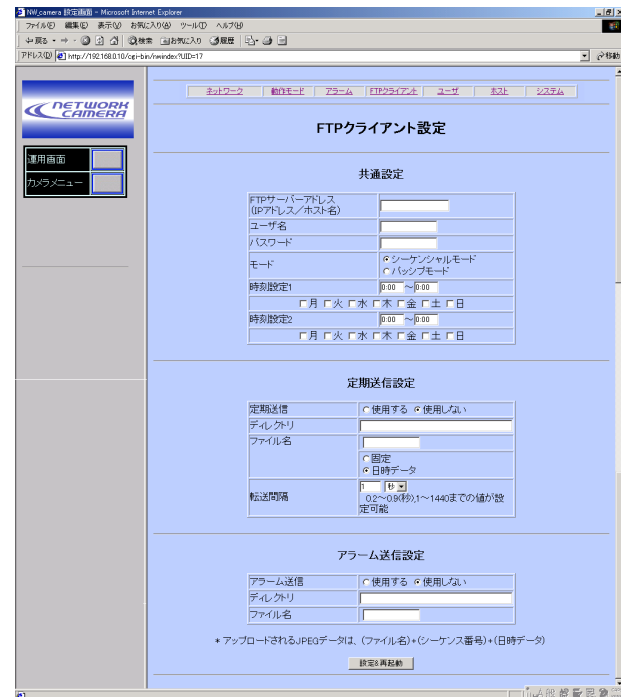
ネットワーク設定ページから操作します。

STEP1

「FTPクライアント」をクリックします。

画像をサーバーに転送する

画面2

FTPクライアント設定ページが表示されます。

STEP2

「共通設定」の各項目を設定します。

[FTPサーバーアドレス]
転送先のサーバーのIPアドレスを入力します。ネットワーク設定でDNSを「使用する」に設定している場合、ホスト名.(ピリオド)ドメイン名(半角英数字128文字以内)を入力できます。

[ユーザ名]
FTPサーバーにログインするためのユーザ名を半角英数字16文字以内で入力します。

[パスワード]
FTPサーバーにログインするためのパスワードを半角英数字16文字以内で入力します。

[モード]
シーケンシャル/パッシブどちらのモードで転送するか設定します。「シーケンシャル」で接続できないときは「パッシブ」に切り換えてください。

[時刻設定1][時刻設定2]
転送する曜日にチェックを入れ、時刻範囲(開始時刻～終了時刻)を設定します。ここで、設定した時刻が定期送信およびアラーム送信の送信時刻となります。

STEP3

設定したら、[設定&再起動]ボタンをクリックします。

STEP4

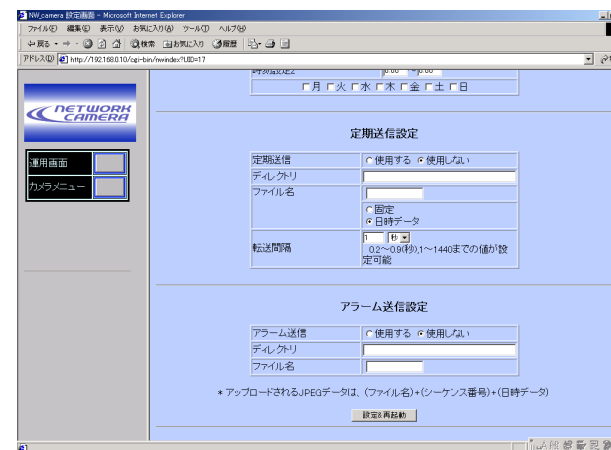
カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

操作・設定

指定した時間間隔で定期的に画像を転送する

時間間隔を指定して、定期的にサーバーに画像を転送するよう設定します。
設定は前ページのFTPクライアント設定ページで行います。

画面1

FTPクライアント設定ページから操作します。

STEP1

スクロールバーをドラッグして「定期送信設定」の設定項目を表示します。

STEP2

「定期送信設定」の各項目を設定します。

STEP3

設定したら、[設定&再起動]ボタンをクリックします。

STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

操作・設定

画像をサーバーに転送する

設定項目について

[定期送信]
「使用する」にチェックします。

[ディレクトリ]
転送する画像ファイルを保存するディレクトリ名を半角英数字256文字以内で入力します。

[ファイル名]
転送する画像ファイル名を半角英数字128文字以内で設定します。

固定: 入力したファイル名をそのまま使用します。「固定」にすると、常に転送したファイルを上書きします。

日時データ: 入力したファイル名+連続番号+送信日時(月日時分秒年)をファイル名として使用します。

[転送間隔]
「時刻指定送信」を「使用する」に設定した場合、転送間隔を以下から設定します。

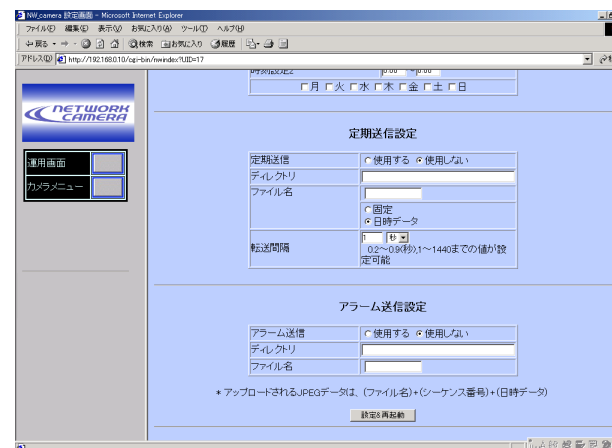
0.2秒〜0.9秒(0.1秒単位), 1秒〜1440秒(1秒単位)、1分〜1440分(1分単位)

補足:
- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で転送できない場合があります。
- 定期送信とアラーム送信を同時に使用すると、アラーム送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

アラーム発生時に画像を転送する

アラーム発生時保存された画像をサーバーへ転送するよう設定します。設定はFTPクライアント設定ページで行います。

画面1

FTPクライアント設定ページから操作します。

STEP1
スクロールバーをドラッグして「アラーム送信設定」の設定項目を表示します。

STEP2
「アラーム送信設定」の各項目を設定します。

[アラーム送信]
「使用する」にチェックします。

[ディレクトリ]
転送する画像ファイルを保存するディレクトリ名を半角英数字256文字以内で入力します。

[ファイル名]
転送する画像ファイル名を半角英数字128文字以内で設定します。転送されるファイル名は、以下のようになります。

ファイル名: 入力したファイル名+連続番号+日時(月日時分秒年)

補足:アラーム設定ページの「録画設定」に設定した録画枚数(「before」と「after」の合計)が転送されるファイル数となります。

STEP3
設定したら、[設定&再起動]ボタンをクリックします。

STEP4
カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

外部機器の制御

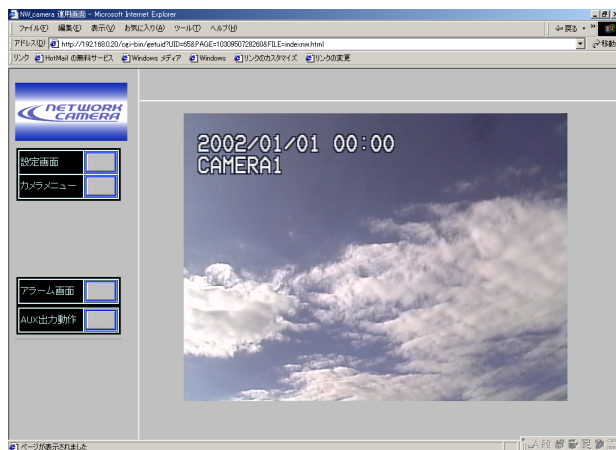
本機後面の端子台のAUX OUT端子に接続した機器をウェブページ上から操作できます。

操作のしかた

画面1

トップページから操作します。

STEP1

[AUX出力動作]ボタンをクリックします。

画面2

AUX出力動作ページに、AUX出力端子の現在の状態が表示されます。

STEP2

「High」または「Low」を選択します。

STEP3

[実行]ボタンをクリックします。AUX出力端子に接続された機器が選択した状態になります。

STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

補足: 電源投入直後は、「High」になります。

アラーム出力端子を元の状態に戻す

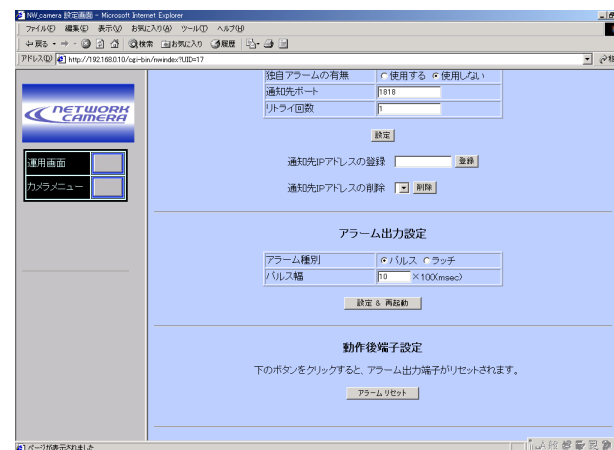
アラーム出力端子の状態をリセットするときは以下の手順で操作します。

画面1

ネットワーク設定ページから操作します。

STEP1

「アラーム」をクリックします。

画面2

アラーム設定ページが表示されます。

STEP2

スクロールバーをドラッグして、「動作後端子設定」を表示します。

STEP3

[アラームリセット]ボタンをクリックします。

STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

メール通知内容のカスタマイズ

アラームの発生とその日時をお知らせするアラームメールの内容をカスタマイズすることができます。

以下の手順で操作してください。

STEP1

メール本文をテキストエディタで作成し、テキスト形式で保存します。ファイル名は「almmail.tmpl」として保存します。

STEP2

FTPソフトを起動し、本機のIPアドレスを入力して接続します。

FTPソフトのユーザ名、パスワードは以下のように設定します。

ユーザ設定ページで登録されている管理者(レベル1)のユーザ名とパスワードを使用します。

ユーザー登録を行っていない場合は、以下のように入力します。
ユーザ名: admin
パスワード: なし

STEP3

作成したファイル(almmail.tmpl)を本機内にアップロードします。

置換文字一覧

表示させたい項目	入力文字	表示形式・表示例
アラーム発生年（4桁）	%Y	西暦4桁表示（2000～2099）
アラーム発生年（2桁）	%y	西暦下2桁表示（00～99）
アラーム発生月（数字）	%m	2桁表示（01～12）
アラーム発生月（文字）	%M	英語の頭3文字表示（Jan、Feb、.....Dec）
アラーム発生日	%d	2桁表示（01～31）
アラーム発生時間	%t	24時間表示（15：00：00）
送信者メールアドレス	%s	
カメラのホスト名	%h	NWcamera
カメラのIPアドレス	%i	192.168.0.1
アラーム要因	%p	端子：Terminal モーションディテクター：VMD
アラーム画像ファイル名	%f	ALM0000_00.jpg
アラーム画像URL（IPアドレス）	%u	http://192.168.0.1/ALM0000_00.jpg
アラーム画像数	%n	0～40

※メールの容量が2 048 byteを超えると、メールに「SIZE OVER!」と記述されます。

※「%」を表示させたい場合、「%%」と入力してください（「%」を2つ並べて入力します)。

認証機能を使用する

認証について

本機は、本機にアクセスするための認証を二重で行うように設定できます。1つが「ユーザ認証」でもう1つが「ホスト認証」です。

ユーザ認証では、ユーザ名とパスワードを入力させ、認証を行います。16ユーザまで登録できます。設定はユーザ認証ページで行います。

ホスト認証では、本機にアクセスできるPCのIPアドレスをあらかじめ登録しておくことによって、未登録のIPアドレスが設定されているPCからのアクセスを遮断することができます。8つまでIPアドレスを登録できます。設定はホスト認証ページで行います。

補足: ユーザ認証とホスト認証は同時に使用することができます。この場合、ホスト認証後に、ユーザ認証が行われます。

ユーザ認証に関する設定

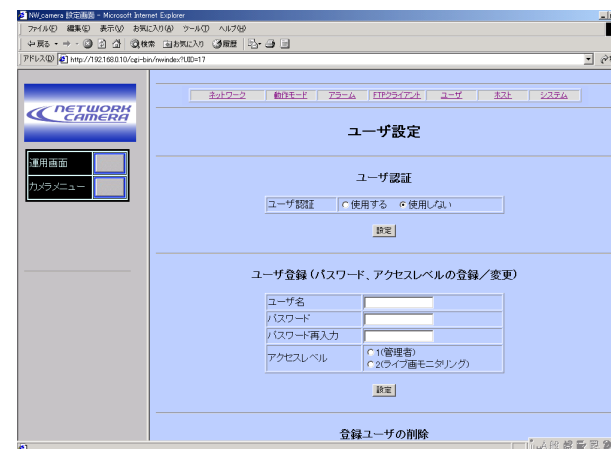
画面1

ネットワーク設定ページから操作します。

STEP1

「ユーザ」をクリックします。

画面2

ユーザ設定ページが表示されます。

STEP2

ユーザ認証に関する各種設定を行います。

[ユーザ認証]

[ユーザ認証]
ユーザ認証を行うかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

[ユーザ登録(パスワード、アクセスレベルの登録/変更)]

[ユーザ名]
ユーザ名を半角英数字16文字以内で入力します。

[パスワード][パスワード再入力]
パスワードを半角英数字16文字以内で入力します。誤入力防止のため[再パスワード]に同じパスワードを入力します。

[アクセスレベル]
アクセスレベルを以下から設定します。
1(管理者): すべての操作を行えます。
2(ライブ画モニタリング): 画像表示のみ可能です。各種設定操作は行えません。

STEP3

設定したら、[設定]ボタンをクリックします。

「ユーザの削除」の[▼]ボタンをクリックして、登録されているユーザ名を確認できます。下の［削除］ボタンをクリックすると、選択したユーザを削除できます。

STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

認証機能を使用する

ホスト認証に関する設定

画面1

ネットワーク設定ページから操作します。

STEP1

「ホスト」をクリックします。

画面2

ホスト設定ページが表示されます。

STEP2

ホスト認証に関する各種設定を行います。

[ホスト認証]

[ホスト認証]
ホスト認証を行うかどうかを「使用する/使用しない」で設定します。

[ホスト登録(アクセスレベルの変更)]

[ホストIPアドレス/ホスト名]
本機へアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。ネットワーク設定でDNSを「使用する」に設定している場合、ホスト名.(ピリオド)ドメイン名(半角英数字128文字以内)を入力できます。

[アクセスレベル]
アクセスレベルを以下から設定します。
1(管理者): すべての操作を行えます。
2(ライブ画モニタリング): 画像表示のみ可能です。各種設定操作は行えません。

STEP3

設定したら、[設定]ボタンをクリックします。

「ホストアドレス」の[▼]ボタンをクリックして、登録されているホストを確認できます。下の［削除］ボタンをクリックすると、選択したホストを削除できます。

STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

重要

・お買い上げ時、管理者(レベル1)のユーザ(admin)が登録されています。このユーザは削除できません。
・お買い上げ時、「admin」に対してパスワードは設定されていません。ユーザ認証を使用する場合は、あらかじめパスワードを設定しておくことをお勧めします。
・ユーザ認証とホスト認証の両方を「使用しない」にすると、全ユーザがライブ画モニタリング(レベル2)でのアクセスとなります。

日時、受信/接続表示ランプの 点灯/消灯を設定する

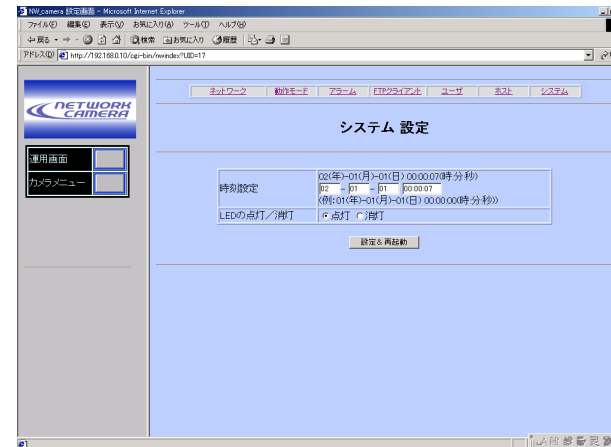
画面1

ネットワーク設定ページから操作します。

STEP1

「システム」をクリックします。

画面2

システム設定ページが表示されます。

STEP2

システムに関する設定を行います。

[時刻設定]
設定する日時(年月日時分秒)を入力します。

[LEDの点灯/消灯]
後面にあるネットワーク端子の受信/接続表示を点灯するか常時消灯するかを設定します。

STEP3

設定したら[設定&再起動]ボタンをクリックします。

STEP4

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

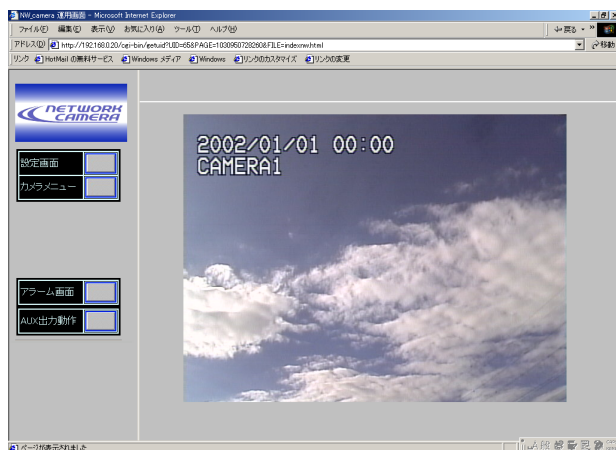
操作・設定

画像を白黒にする

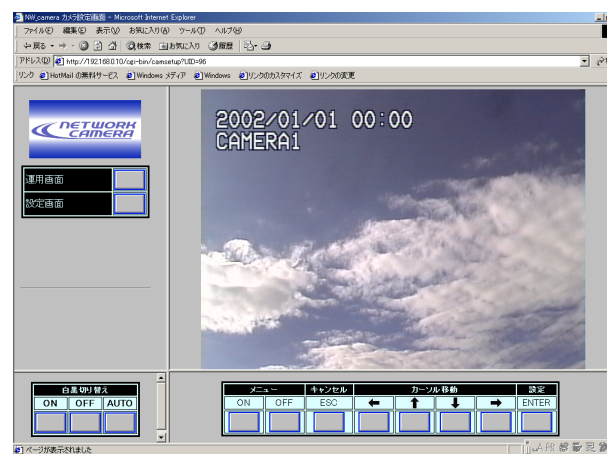
夜間など周囲が暗いとき、画像を白黒にすることによって被写体を鮮明に撮影することができる場合があります。

補足: カメラメニューが表示されているとき、以下の操作を行うことはできません。

画面1

トップページから操作します。

STEP1

[カメラメニュー]ボタンをクリックします。

画面2

STEP2

手動で白黒にするときは「白黒切り替え」の[ON]ボタンをクリックします

カラー画像に戻すときは[OFF]ボタンをクリックします。

周囲が暗くなったとき、自動で白黒に切り換えたいときは[AUTO]ボタンをクリックします。

STEP3

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

重要

「白黒切り替え」ボタンを操作するときは以下のことに注意してくださいい。

- カメラメニューが表示されているときは操作できません(「メニュー」の[OFF]ボタンをクリックして、カメラメニューを消去してください)
- SPECIALメニュー(カメラ機能設定メニュー)のBWでEXTを選択しているときは、操作できません(EXT以外に変更してください)
- SPECIALメニュー(カメラ機能設定メニュー)のBWでAUTO2を選択していても、「白黒切り替え」の[AUTO]ボタンをクリックするとAUTO1で動作します(BWの設定はAUTO1に変更されます)。

操作・設定

カメラメニューについて

概要

カメラメニューは、以下の2とおりの設定方法があります。

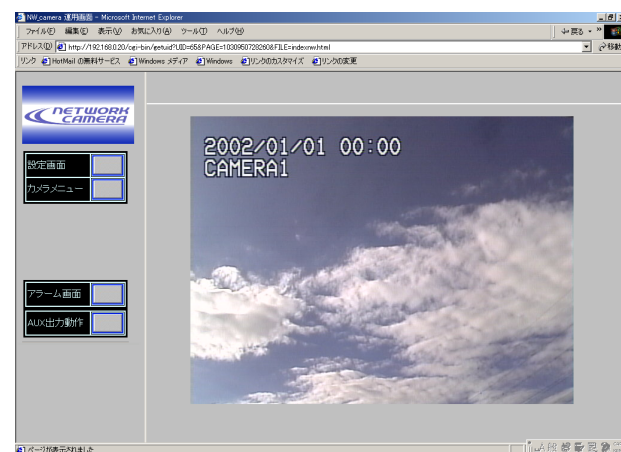
・ネットワークに接続されたPCから設定する

・本機側面にあるボタン使って設定する

カメラメニューの表示のしかた

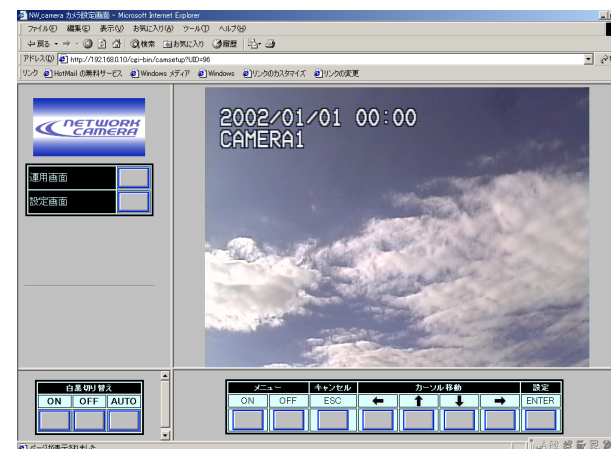
PCから操作する場合

画面1

トップページから操作します。

STEP1

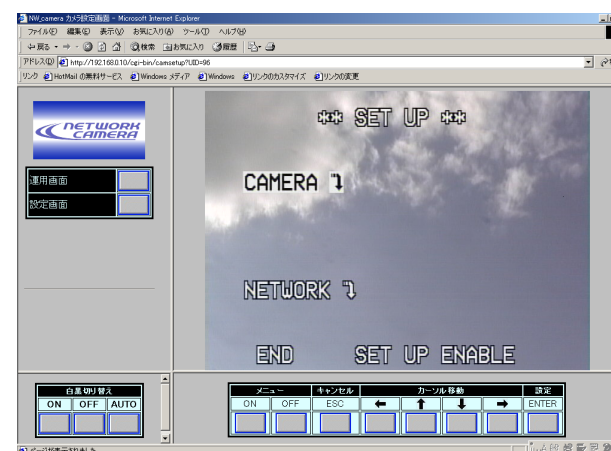
[カメラメニュー]ボタンをクリックします。
管理者(レベル1)以外のユーザでログインすると、認証ウィンドウが表示されます。管理者のユーザ名、パスワードで認証を行ってください。

画面2

カメラ画像の下にカメラメニュー操作パネルが表示されます。

STEP2

「メニュー」の[ON]ボタンをクリックします。

画面3

カメラメニューが表示されます。

STEP3

カメラメニュー操作パネルを操作して、カメラメニューの項目を設定します。

CAMERA: カメラ機能設定メニューを表示します。カメラの機能を設定できます。

NETWORK: ネットワーク設定メニューを表示します。

操作・設定

カメラメニューについて

STEP4

作業が終了したら「メニュー」の[OFF]ボタンをクリックします。

カメラメニューが消去されます。

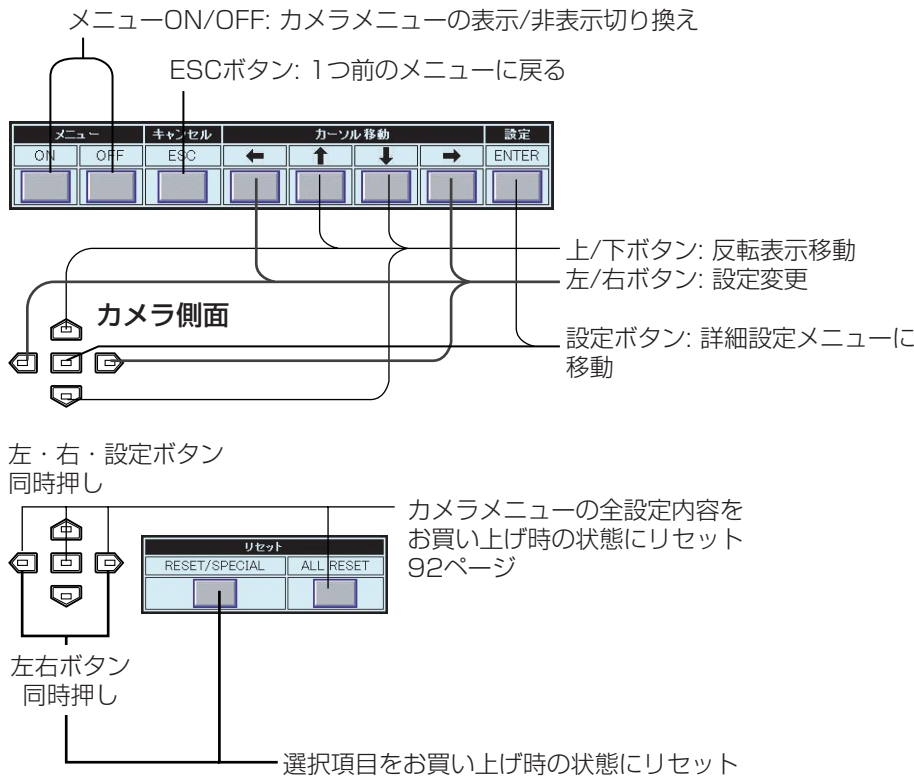
STEP5

カメラ画像に戻りたいときは、[運用画面]ボタンをクリックします。

変更内容が本機に設定され、カメラ機能設定用メニューが消去されます。

補足: カメラ機能設定用メニューを消さずに、運用画面ボタンをクリックするとカメラ機能設定用メニューが表示された状態で、運用画面に戻ります。

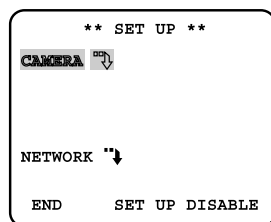
カメラメニュー操作パネルについて

各ボタンの対応と役割は以下のとおりです。

本機側面のボタンで操作する場合

操　作	状　態
1. 設定ボタンを約2秒間押し続けます。	カメラ画像の上にカメラメニュー(下図)が表示されます。
2. 下ボタンを2回押してENDを反転表示にします。	
3. 右ボタンを1回押してSET UP DISABLEを反転表示にします。	
4. 設定ボタンを押します。	DISABLEがENABLEに変わり、設定できる状態になります。
作業が終了したら以下の操作を行ってください。以下の手順を守らずに作業を終了した場合、変更内容が反映されない場合があります。	
5. RETを反転表示にして設定ボタンを押します。	1つ前のメニューに戻ります。繰り返して、SET UP メニューまで戻ります。
6. ENDを反転表示にして設定ボタンを押します。	変更内容が本機に登録され、カメラメニューが消去されます。

補足: 設定作業を終了するときは、必ずENDが表示されているメニューに戻って手順6の操作を行ってください。手順を守らずに終了すると、変更内容が本機に登録されませんので注意してください。

カメラメニューについて

カメラ機能設定メニュー

SET UPメニュー

CAMERA↓: カメラの設定を行うときに選択します。反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックすると、CAM SET UPメニューが表示されます。

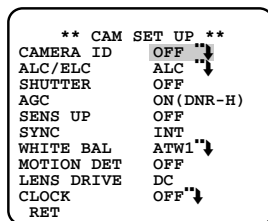
NETWORK↓: 本機のネットワーク設定を行うときに選択します。反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックすると、NETWORK SET UPメニューが表示されます。

END: 設定作業を終了します。

SET UP DISABLE/ENABLE:
DISABLEが表示されているときは、設定内容を変更できません。
ENABLEが表示されているときは、設定内容を変更できます。
DISABLE/ENABLEの切り換え方法は前ページをお読みください。

CAM SET UPメニュー

SET UPメニューでCAMERA↓を選択し、[ENTER]ボタンをクリックすると表示できます。

```
   ** CAM SET UP **
CAMERA ID      OFF↓
ALC/ELC        ALC↓
SHUTTER        OFF
AGC            ON(DNR-H)
SENS UP        OFF
SYNC           INT
WHITE BAL      ATW1↓
MOTION DET     OFF
LENS DRIVE     DC
CLOCK          OFF↓
 RET
```

CAMERA ID: カメラIDの表示の有無、カメラIDを設定します。

<u>**OFF↓**</u>: カメラIDを表示しません。

ON↓: カメラIDを設定し、モニターに表示するときはON↓にします。ON↓を選択し、[ENTER]ボタンをクリックすると、カメラIDを編集できます。

ALC/ELC: 光量制御方式を設定します。以下から選択できます。

<u>**ALC↓**</u>: 本機に、自動絞りレンズ（ALCレンズ）が取り付けられている場合は、ALC↓を選択します。電子感度アップ(SENS UP)を使用する場合も、ALC↓を選択してください。ALC↓を選択し、[ENTER]ボタンをクリックすると、ALC CONTメニューを表示し、詳細設定を行うことができます。

ALC CONTメニューでSUPER-DⅡ機能のON/OFFを設定できます。

ELC↓: 固定絞りレンズ、手動絞りレンズが取り付けられている場合はこの設定にします。

補足:

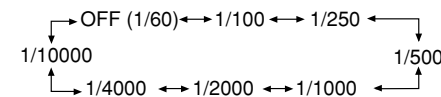
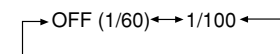
- ホワイトバランス方式(WHITE BALの設定)をAWCに設定しているときにELCを選択すると、WHITE BALの設定は、ATW1に自動的に変更されます。
- ELCを選択すると、SUPER-DⅡおよびSHUTTER機能は使用できません(OFFになります)。
- 固定絞りレンズの絞りを解放して使用している場合、ELCに設定すると、自動絞りレンズ（ALCレンズ）を使用したときよりも焦点深度が浅くなり、焦点が合う被写体距離の範囲が狭くなります。

SHUTTER: 電子シャッターのスピード(単位:s)を選択します。SUPER-DⅡのON / OFFで選択できるシャッタースピードが異なります。

<u>**OFF**</u>: シャッターは使用しません。

SUPER-DⅡがOFFのとき:

SUPER-DⅡがONのとき:

OFF (1/60) ⟷ 1/100

補足: ALC/ELCをELCに設定している場合、SHUTTER機能は使用できません（OFF固定）。

AGC: ゲインを調節します(自動ゲインコントロール)。本機のゲインコントロール機能はデジタルノイズリダクション機能も含んでいます。AGCをON(DNR-H)またはON(DNR-L)にすると、低照度で自動的にノイズリダクション機能が働き、ノイズが低減されます。ただし、動きのある被写体で残像が発生することがあります。

<u>**ON(DNR-H)**</u>: 被写体の照度が暗くなると自動的にゲインを上げ画面を明るくします。

ON(DNR-L): ON(DNR-H)で残像が気になる場合に使用します。ただし、ON(DNR-H)より若干ノイズが増加します。

OFF: ゲインを調節しません。

補足: カメラの状態表示機能のあるシステム機器で本機の状態を表示したとき、システム機器側のステイタ

操作・設定

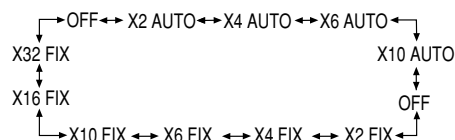
ス表示に、AGCのON/OFFのみ表示されます。DNR-H、DNR-Lは表示されません。

SENS UP: 電子感度を設定します。本機は電子感度を倍率で選択できます。一般に、暗い場所を撮影するとき、倍率を上げることによって鮮明に撮影することが可能となります。

電子感度はALC/ELCでALCを設定している場合で、シャッタースピードOFFまたは1/100 sに設定しているときにのみ感度を上げることができます。

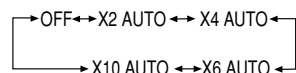
SUPER-DⅡのON / OFFで選択できる電子感度の倍率が異なります。

OFF: 電子感度をアップしません。

SUPER-DⅡがOFFのとき: 以下から選択できます。

Xn AUTO: nに示される倍率までの範囲で自動的に電子感度を調節して撮影することを意味します。

Xn FIX: nに示される倍率に電子感度をアップして撮影することを意味します(倍率固定)。

SUPER-DⅡがONのとき: 以下から選択できます。

OFF ↔ X2 AUTO ↔ X4 AUTO
X10 AUTO ↔ X6 AUTO

補足:

・シャッタースピードを1/100 s にし、SENS UPでXn AUTOを選択する場合は、はじめにSHUTTERを1/100に設定してください。その後、SENS UPを設定してください。

・以下に示すコントローラーで SENS UP Xn AUTO, SHUTTER 1/100 s は設定できません。
本機側面にあるボタンで設定してください。
WV-CU300, WV-CU354,
WV-CU204, WV-CU254

・SENS UPのAUTOモードとSUPER-DⅡのONモードとを組み合わせて使用する場合、SENS UP 動作中はSUPER-DⅡの効果が得られません。

・WV-CU254/CU300/CU354コントローラーを使用し、SUPER-DⅡをONに設定しているときは、コントローラーで、SENS UP OFF↔Xn AUTOは設定できません。本機側面にあるボタンで設定してください。

・SENS UPの倍率を上げると画面がざらついたり、白っぽくなったり、傷のようなものが現れる場合がありますが、異常ではありません。

・SHUTTER 1/100で使用するときは、SENS UPはXn AUTOを選択してください。Xn FIXを選択しても電子感度アップは動作しません。

SYNC: 画像の同期方法(INTまたはVD2)を確認できます。設定することはできません。

INT: 同期信号は入力されていません。本機が生成した内部同期信号で他の機器と同期を合わせます。

VD2: 同期信号として、多重化垂直ドライブ信号(VD2)を使用しています。VD2は映像信号に重畳されて入力されます。VD2で同期を合わせる場合、映像出力端子はVD2信号を出力する機器に接続されている必要があります。

WHITE BAL: ホワイトバランスの調整方法を選択します。選択後、[ENTER]ボタンをクリックするとホワイトバランスを微調整できます。

ATW1: 自動的に色温度を追尾してホワイトバランスを自動調節します(自動色温度追尾モードと呼びます)。

ATW1で追尾できる色温度は約2600 K~6000 Kまでです。この範囲を超えるときは、AWCでホワイトバランスを調節してください。また、以下の条件下では、色を忠実に再現できません。以下の条件下で撮影する場合はAWCでホワイトバランスを調節してください。

・被写体の大部分を強烈な色がしめる場合。

・光源がぬけるような青空や夕暮れ時の太陽の場合

ATW2: ホワイトバランスをナトリウム灯下での撮影に適するよう自動調節します。

AWC: ホワイトバランスを自動調節します。

AWCで調節できる色温度は、約2300 Kから10000 Kまでです。この範囲を超えたり、被写体を照らす照明が暗いときはホワイトバランスを調節できない場合があります。

AWC選択時は以下の手順でホワイトバランスを調節してください。

①左ボタンをクリックします。
表示がAWC→PUSH SWに切り換わります。

②[ENTER]ボタンをクリックします。
ホワイトバランスの調節が始まります。調節中、PUSH SWが反転表示になります。反転表示が終わるとホワイトバランスの調節は完了です。
補足: 反転表示がいつまでも終了しないときは、ホワイトバランスの調節に失敗しています。被写体の色温度および照度を確認し、調

操作・設定

カメラ機能設定メニュー

節をやり直してください。

③右ボタンを押し、表示をAWC"↓に戻します。

補足: カメラの状態表示機能のあるシステム機器で本機の状態を表示したとき、システム機器側のステイタス表示に、ATW1/ATW2は表示されません。

MOTION DET: 動き自動検知機能(モーションディテクター)をON/OFFします。

OFF: モーションディテクター機能は使用しません。

ON: モーションディテクター機能を使用します。ONを選択し、[ENTER]ボタンをクリックすると、MOTION DETECTメニューで詳細設定を行うことができます。

補足:

・MOTION DETをONにすると、映像信号のブランキング期間にアラームデータを出力します。このため、ブランキング期間を使用する機器（タイムコードを使用するVTRなど）は誤動作します。したがって、ブランキング期間を使用する機器と組み合わせて使用するときはMOTION DETをOFFにしてください。

・蛍光灯下のフリッカのある被写体やELCモードでは誤動作する場合があります。

・風に揺れる木の葉やカーテンなどを検出するときはMASK SETで検出エリアから除外してください。

・低輝度下のノイズが多い条件では誤動作する場合があります。このようなときは、感度（LEVEL）を下げてください。

・車のヘッドライトや照明のON / OFFなどにより、被写体の照度が急激に変化する場合は誤って検出することがあります。

・カメラが動きを検出してからVTRなどのアラーム端子までアラーム信号を送るのに約0.2秒の遅れがあります。

LENS DRIVE: カメラに取り付ける自動絞りレンズの種類を設定します。

DC: DC制御方式の自動絞りレンズ

VIDEO: ビデオ信号方式の自動絞りレンズ

CLOCK: 時計表示のON/OFFおよび表示位置を選択できます。[ENTER]ボタンをクリックするとCLOCK設定メニューで表示形式を選択できます。

OFF: 時計を表示しません。

ON(L-UP): 時計を画面左上に表示します。

ON(L-LOW): 時計を画面左下に表示します。

ON(R-UP): 時計を画面右上に表示します。

ON(R-LOW): 時計を画面右下に表示します。

補足: 時計の時刻は、PCからのみ設定できます。ネットワーク接続を行わない場合、時計を合わせることはできません。

RET: RET反転表示にし[ENTER]ボタンをクリックすると、SET UPメニューに戻ります。

カメラ機能設定メニュー

NETWORK SET UPメニュー

本機後面にあるネットワーク端子を使い、本機をネットワークに接続する場合、このメニューでIPアドレスなどネットワーク接続に必要な情報を必ず設定してください。

補足:

- DHCPサーバーから各種アドレスを取得して自動設定する、およびDNSサーバーを使用する場合、この画面で設定することはできません。ネットワーク設定ページで設定してください。
- 設定を始める前に、ネットワーク管理者またはご利用のインターネット・サービス・プロバイダー(ISP)に、利用可能なIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを確認してください。
- インターネット経由で接続する場合、IPアドレスにグローバルアドレスを設定する必要があります。ISP経由で接続する場合、割り当てられているアドレスが、グローバルアドレスかどうか確認してください。
- お買い上げ時、以下のように設定されています。

  IP ADDRESS: 192.168.0.10
  NETMASK: 255.255.255.0
  GATEWAY: 192.168.0.1
  HTTP PORT NO.: 80

メニュー詳細

NETWORK SET UPメニューは、SET UPメニューでNETWORKを選択し、[ENTER]ボタンをクリックすると表示できます。

```
   ** NETWORK SET UP **
IP ADDRESS
              192.168.  0. 10
NETMASK
              255.255.255.  0
GATEWAY
              192.168.  0.  1
HTTP PORT NO.              80
 RET  END
```

IP ADDRESS: アドレスを設定します。反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックすると、IPアドレスを編集できるようになります。本機は、1〜255までの10進数を4つに区切って入力します。指定されたアドレスを入力してください。

NETMASK: サブネットマスクを設定します。反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックすると、サブネットマスクを編集できるようになります。IPアドレスと同様に、1〜255までの10進数を4つに区切って入力します。

指定された値を入力してください。

GATEWAY: ゲートウェイのアドレスを設定します。反転表示にし[ENTER]ボタンをクリックすると、ゲートウェイのアドレスを編集できるようになります。IPアドレスと同様に、1〜255までの10進数を4つに区切って入力します。指定されたアドレスを入力してください。

HTTP PORT NO.: ネットワークに画像を送信する際に使用するHTTPポートの番号を設定します。反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックすると、ポート番号を編集できるようになります。指定された番号を入力してください。

補足: ポート番号は、システムで使用していない番号を設定してください。

RET: RETを反転表示にし[ENTER]ボタンをクリックすると、SET UPメニューに戻ります。

END: 設定内容を保存し、設定を終了します。

編集方法

以下の手順で設定内容を編集できます。

1. 編集したい項目を反転表示にします。
2. [ENTER]ボタンをクリックします。

   編集可能になります。

   数字選択: 右または左ボタン

   けた移動: 上または下ボタン
3. SET UPメニューに戻るときは、RETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

   設定を終了するときは、[OFF]ボタンをクリックします。またはENDを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

補足: SET UP メニューに戻るまたは設定を終了すると、本機は自動的に再起動を行います。再起動中、本カメラにアクセスしているPCに表示している画像が静止します。この場合、アクセスし直してください。

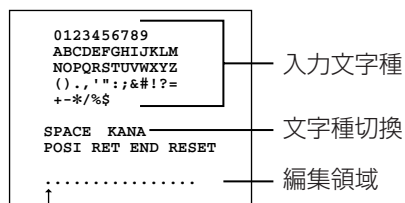
操作・設定

カメラ機能設定メニュー

カメラIDの編集

ここでは、カメラIDの編集方法について説明します。以下の手順で操作してください。

補足: 時計とカメラIDの両方をON(表示)にすると時計表示が優先されます。この場合、カメラIDは時計の下に表示されます。

1. CAM SET UPメニューのCAMERA IDのON/OFFを反転表示にします。
2. [ENTER]ボタンをクリックします。カメラID編集メニューが表示されます。

SPACE: 反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックすると、編集領域の↑位置に空白を入力できます。

KANA/ALPHA: 入力文字種を切り換えます。KANA(カタカナ入力)/ALPHA(英数字・記号入力)を反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックすると入力文字種を変更できます。

POSI: 反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックすると、カメラID表示位置確認メニューが表示されます。上/下/左/右ボタンで表示位置を決めます。表示位置を決めたら、[ENTER]ボタンをクリックします。

RET: CAM SET UPメニューに戻ります。

END: 設定内容を保存し、設定を終了します。

RESET: 編集領域に表示されている文字をすべて消去します。

3. 上/下/左/右ボタンで文字を選択します。反転表示されている文字が選択されている文字です。

   入力位置は編集領域の↑で確認できます。↑を反転表示にし、右または左ボタンをクリックすると、入力位置(↑)を移動できます。

4. [ENTER]ボタンをクリックします。選択されている文字が編集領域の↑の位置に入力されます。

   ↑の位置に既に文字が入力されている場合、上書きされます。

   文字を1文字消去したいときは、空白(SPACE)で上書きしてください。

5. CAM SET UPメニューに戻るときは、RETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

   設定を終了するときは、[OFF]ボタンをクリックします。またはENDを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

SUPER-DⅡ機能の設定

SUPER-DⅡ機能は光量制御方式の一つであり、ALC/ELCでALCを選択した場合のみ使用できます。

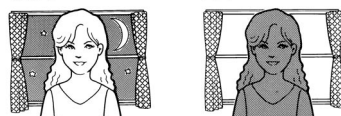
SUPER-DⅡについて

SUPER-DⅡ機能は、通常のカメラの約64倍のダイナミックレンジを確保できるため、逆光に対して効果的です(当社比)。

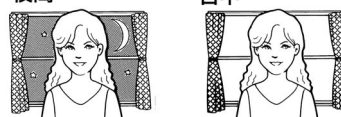
被写体の背景にスポットライトのような明るい照明があるときに使用すると有効です。

SUPER-DⅡ機能を使用しない場合

夜間

日中

SUPER-DⅡ 機能を使用した場合

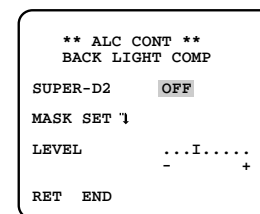
夜間

日中

補足: 通常カメラは明るい部分に合わせて絞りを設定するため、被写体が暗くなってしまいます。SUPER-DⅡ機能をONにすると、逆光時も自動的に光量を制御し被写体を鮮明に撮影することができます。ただし、照明によっては次のような現象が発生することがあります。このような現象が発生するときはSUPER-DⅡ機能をOFFにしてください。

- 画面のちらつきまたは色が変化する
- 画面の明るい部分にノイズが発生する

設定のしかた

SUPER-DⅡ機能はALC CONTメニューで設定します。

ALC CONTメニューは、CAM SET UPメニューのALC/ELCでALCを選択し、[ENTER]ボタンをクリックすると表示できます。

SUPER-DⅡ: 以下から選択できます。

ON: SUPER-DⅡ機能を使用します。マスクは不要です。

OFF: SUPER-DⅡ機能は使用しません。マスク設定メニューで被写体の明るい部分をマスクしてください。

補足: SUPER-DⅡをONにすると、明るい部分と暗い部分との境界に影（黒い線）が表示されることがありますが、故障ではありません。

MASK SET⮯: 反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックするとマスク設定メニューを表示できます。マスク設定メニューの設定は、SUPER-DⅡでOFFを選択した場合に有効となります。

LEVEL: 映像出力レベル(コントラスト)を調節します。調節するときは、この項目を反転表示にし、右または左ボタンをしてください。モニターを確認しながら調節してください。

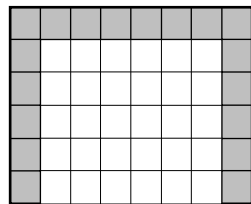
補足: SUPER-DⅡをONにするときは、映像出力レベルを少し上げ気味に設定すると、効果を得やすくなります。ただし、映像出力レベルを上げすぎると、ちらつきやノイズなどが多くなる場合があります。

RET: CAM SET UPメニューに戻ります。

END: 設定内容を保存し、設定を終了します。

マスクのしかた

SUPER-DⅡ機能を使用しない場合(SUPER-DⅡ OFF)、以下の手順で背景の明るい部分をマスクします

1. MASK SET⮯を反転表示にします。
2. [ENTER]ボタンをクリックします。マスク設定メニュー(48区画に分割)が表示されます(左上の区画が点滅しています)。

3. 背景の明るい区画に点滅表示を移動します。
   既にマスクがかけられている区画に点滅表示を移動すると、横縞と白の交互表示になります。

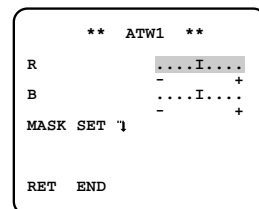
   点滅表示は右または左ボタンで移動できます。
4. [ENTER]ボタンをクリックします。点滅表示の区画にマスクが設定されます。マスクした区画は、白色で表示されます。

   既にマスクされた区画に点滅表示を移動し、[ENTER]ボタンをクリックするとマスクが解除されます。
5. 手順3と4を繰り返し、背景の明るい個所をマスクします。
6. ALC CONTメニューに戻るときは、[ESC]ボタンをクリックします。または設定ボタンを2秒以上押し続けてください。

ホワイトバランスの微調整

ホワイトバランスは、調整方式を設定した後、微調整できます。

1. WHITE BALの項目を反転表示にします。
2. [ENTER]ボタンをクリックします。

   ATWメニュー(ホワイトバランス微調整メニューATW1, ATW2, AWC)が表示されます。設定内容は同じです。

R: 赤色の調整

B: 青色の調整

MASK SET: 反転表示にし[ENTER]ボタンをクリックすると、マスク設定メニューを表示できます。マスク設定メニューで、ホワイトバランスの検出範囲を設定できます。

RET: 反転表示にし[ENTER]ボタンをクリックすると、CAM SET UPメニューに戻ります。

END: 設定内容を保存し、設定を終了します。

3. 調整したい色(RまたはB)を反転表示にします。
4. 右または左ボタンで、色味を調整します。

   +方向に動かすと、色が強くなり-方向に動かすと、色が弱くなります。
5. ホワイトバランスを調整するための検出範囲を設定するときは、MASK SETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。マスク設定メニューが表示されます。

   マスク設定メニューで、明るすぎる光源などホワイトバランスの検出範囲から除外したい区画をマスクします。マスクは、SUPER-DⅡ機能のマスクのしかたと同様の手順で設定できます。

   マスク設定を終了するときは[ESC]ボタンをクリックします。ホワイトバランス微調整メニューに戻ります。
6. CAM SET UPメニューに戻るときは、またはRETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

   設定を終了するときは、[OFF]ボタンをクリックします。またはENDを反転表示にし、設定ボタンを押します。

動き自動検知機能の詳細設定(MOTION DETECT)

動き自動検知機能(モーションディテクター)を使用すれば、物体の動きを検知してシステム機器やビデオなどにアラーム信号を出力できます(本機をセンサーの代わりに使用できます)。

動き自動検知機能の概要

動き自動検知機能をONにすることによって1/48ブロックごとに被写体の動き(輝度の変化)をとらえ、他の機器にアラーム信号を出力できます。例えば、動きを検出したときに、ビデオにアラーム信号送り録画を開始することができます。

検出条件

動き自動検知機能の動作条件は以下のとおりです。

被写体の大きさ: 動く物体は画面の1/48以上の大きさが必要。

被写体のコントラスト: 背景画像と動く物体のコントラスト比が5 %（最大感度設定時）以上必要。

被写体の動く速さ: 画面の端から端までを物体が通過する時間が0.1〜0.8秒以上必要（コントラスト比5 %の場合)。これより速い物体は検出できません。

補足: コントラスト比によって被写体の大きさや動く速さの制限は異なります（コントラスト比（明暗の差）が大きいと制限は緩和されます)。

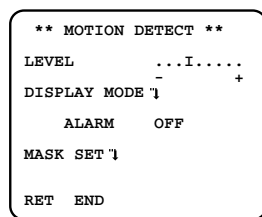
本機は動き検出有無をモニターで確認できるデモモード機能があります。デモモードを使用すれば、動きの有無を確認できます。

設定のしかた

1. CAM SET UPメニューのMOTION DETを反転表示にします。
2. 右または左ボタンを押して、ON↵に変更します。
3. [ENTER]ボタンをクリックします。

   MOTION DETECTメニューが表示されます。

```
 ** MOTION DETECT **
LEVEL           ...I.....
                -       +
DISPLAY MODE ↵
    ALARM    OFF
MASK SET ↵

RET  END
```

LEVEL: マスク設定後、検出レベルを調節します。

DISPLAY MODE↵: デモモードに切り換え、モニターで動きのある区画を確認します(手順4)。

ALARM: デモモード中、動きを検知したとき、アラーム出力端子からアラーム信号を出力する/しないを選択します。

ON: デモモード中、動きを検知したとき、アラーム出力端子からアラーム信号を出力します

補足: コントローラーによってはONを選択すると、デモモードで動きを検出したとき、設定メニューを終了します。
これは、コントローラーの仕様によるもので、故障ではありません。

OFF: デモモード中、動きを検知しても、アラーム出力端子からアラーム信号を出力しません。

MASK SET: マスク設定メニューを表示します。

RET: 反転表示にし[ENTER]ボタンをクリックすると、CAM SET UPメニューに戻ります。

END: 設定内容を保存し、設定を終了します。

4. MASK SETを反転表示にします。
5. [ENTER]ボタンをクリックします。

   マスク設定メニューが表示されます。このメニューで、動き検知範囲から除外したい区画をマスクします。デモモードで点滅表示された区画が目安になります。

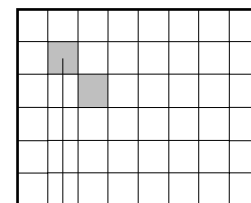
   マスクは、SUPER-D II 機能のマスクのしかたと同様の手順で設定できます。

   MOTION DETECTメニューに戻り、デモモード(DISPLAY MODE↵)にすると、マスク範囲が妥当かどうか確認できます。

6. DISPLAY MODE↵を反転表示にします。
7. [ENTER]ボタンをクリックします。

   デモモードに変わります。
   画面が48の区画に区切られます。

   デモモードの間、動きを検知した区画が点滅します。

   デモモードで、アラーム機器の動作を確認するときは、ALARMの項目をONにしてください。

点滅表示(動き検知区画)

動きのある区画を確認後、[ENTER]ボタンをクリックしてMOTION DETECTメニューに戻ります。

8. LEVELを反転表示にします。
9. 右または左ボタンで感知レベルを調整します。

   +方向に動かすと、検出レベルがあがります。-方向に動かすと、検出レベルが下がります。

   手順4から9を繰り返して、最適のレベルに調整します。
10. CAM SET UPメニューに戻るときは、RETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

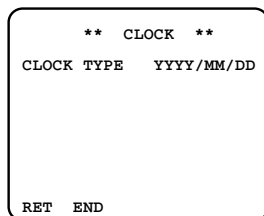
   設定を終了するときは、[OFF]ボタンをクリックします。またはENDを反転表示にし、設定ボタンを押します。

時計表示形式の選択

お買い上げ時、本機は、年.月.日の順に表示するよう設定されています。

表示の順番は以下の手順で変更できます。

1. CAM SET UPメニューのCLOCKを反転表示にします。
2. [ENTER]ボタンをクリックします。

   CLOCK設定メニューが表示されます。

   CLOCK TYPE: 表示形式を選択します。

   RET: 反転表示にし[ENTER]ボタンをクリックすると、CAM SET UPメニューに戻ります。

   END: 設定内容を保存し、設定を終了します。
3. 右または左ボタンで表示形式を選択します。以下から選択できます。

   YYYY/MM/DD:年/月/日の順

   MM/DD/YYYY: 月/日/年の順

   DD/MM/YYYY: 日/月/年の順
4. CAM SET UPメニューに戻るときは、RETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

   設定を終了するときは、[OFF]ボタンをクリックします。またはENDを反転表示にし、設定ボタンを押します。

画像の微調整

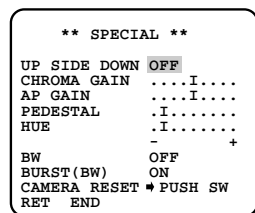
調整をする前に

カメラの画質(色の濃さ、画像のシャープネス、明るさ、色合い、白黒制御)を微調整できます。

補足: 同じ色でもモニターごとに異なる色に見える場合があります。
画質を調整するときは、実際にカメラの画像を表示するモニターに撮影画像を表示し、画像を確認しながら調整してください。
複数のモニターを使用する場合、モニター間のキャリブレーションを調整することによって、モニターによる色の違いを最少限に押さえることができます。

調整のしかた(SPECIAL)

1. CAM SET UPメニューを表示します。
2. RETを反転表示にします。
3. [RESET]ボタンをクリックします。または、右ボタンと左ボタンを同時に約2秒間押します。

   SPECIALメニューが表示されます。

UP SIDE DOWN: 画像を上下反転するとき、ONにします(左右は反転しません)。

ON: 反転します。

OFF: 反転しません。

CHROMA GAIN: 右または左ボタンで、色の濃さを調節します。

＋方向: 濃くします。

－方向: 薄くします

補足: 複数のカメラ間で、色の濃さを合わせたい場合は、映像出力端子にベクトル色度指示器を接続して調整作業を行ってください。

AP GAIN: 右または左ボタンで、画像のシャープネスを調整します。

＋方向: シャープにします。

－方向: ソフトにします。

PEDESTAL: 右または左ボタンで、画面の明るさを調整します。

＋方向: 明るくします。

－方向: 暗くします。

補足: 複数のカメラ間で、明るさを合わせたい場合は、映像出力端子に波形モニターを接続して調整作業を行ってください。

HUE: 右または左ボタンで、色合いを調整します。肌色を規準に調整してください。

＋方向: 紫の色が強い場合、＋方向に動かします。

－方向: 緑の色が強い場合、－方向に動かします。

補足: 複数のカメラ間で色合いを合わせたい場合は、映像出力端子にベクトル色度指示器を接続して調整作業を行ってください。

BW: カラー←→白黒の切り換え方法を選択します。以下から選択できます。

AUTO1: 周囲(被写体の照度)が暗くなると白黒画像に自動切り換えします。[ENTER]ボタンをクリックすると、BW AUTO1メニューで、カラー←→白黒を切り換える照度、切り換え時間を設定できます。

AUTO2: 夜間時の照明に近赤外線照明を使用している場所で撮影する場合で、AUTO1で誤動作するとき、AUTO2にします。[ENTER]ボタンをクリックすると、BW AUTO2メニューで、カラー←→白黒を切り換える照度、切り換え時間を設定できます。

EXT: 外部端子(DAY/NIGHT IN)端子に接続したスイッチでカラー←→白黒を切り換えるます。

ON: 常に白黒画像を表示します。

OFF: 常にカラー画像を表示します。

補足: この設定項目は、「白黒切り替え」ボタンで切り換えることができます。ただし、EXTを選択すると、「白黒切り替え」ボタンで操作することはできません。

BURST(BW): カラー画像から白黒画像に切り換えたとき、バースト信号を出力する/しないを選択します。

操作・設定

画像の微調整

ON: 出力します。

OFF: 出力しません。

補足: ONにすると、白黒画像に切り換えたとき、モニターやVTRによっては画像の輪郭に色が付く場合があります。輪郭の色が目立つ場合は、OFFにしてください。ただし、OFFにすると正しく映像を表示できない機器があります。

CAMERA RESET: 反転表示にし、[ALL RESET]ボタンをクリックする(または右・左・設定ボタンを同時に2秒以上押す)と、CAM SET UPメニューの設定内容を初期化します。

補足: 以下の設定内容は初期化されません。

・NETWORK SETUPメニュー
・ネットワーク機能の設定
・PCに配信するHTMLページ

RET: CAM SET UPメニューに戻ります。

END: 設定内容を保存し、設定を終了します。

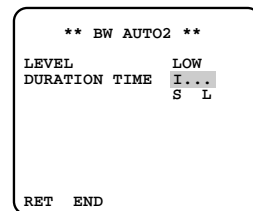
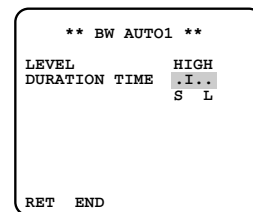
4. CAM SET UPメニューに戻るときは、[ESC]ボタンをクリックします。またはRETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

   設定を終了するときは、[OFF]ボタンをクリックします。またはENDを反転表示にし、設定ボタンを押します。

カラー←→白黒自動切り換え設定(BW AUTO1/BW AUTO2)

カラー←→白黒切り換える照度、切り換えるまでの待ち時間を選択します。なお、この設定はカラー←→白黒切り換え方法(BW)で、AUTO1またはAUTO2に選択したときに有効です。

1. SPECIALメニューを表示します。
2. BWでAUTO1またはAUTO2を選択します。
3. [ENTER]ボタンをクリックします。

   BW AUTO1またはBW AUTO2メニューが表示されます。

LEVEL: カラー←→白黒に切り換える明るさ(照度)を選択します。

LOW: 被写体の照度が約1 lxより暗くなると白黒に、明るくなるとカラーになります。

HIGH: 被写体の照度が約5 lxより暗くなると白黒に、明るくなるとカラーになります。

DURATION TIME: 右または左ボタンで、カラー←→白黒に切り換えるまでの待ち時間を選択します。目盛と時間の関係は次のとおりです。

10秒(S)－30秒－60秒－300秒(L)

4. SPECIALメニューに戻るときは、[ESC]ボタンをクリックします。またはRETを反転表示にし、[ENTER]ボタンをクリックします。

   設定を終了するときは、[OFF]ボタンをクリックします。またはENDを反転表示にし、設定ボタンを押します。

初期化する

ネットワーク機能の設定およびHTMLページ、アラームメール(almmail.tmpl)の内容を初期化し、お買い上げ時の状態に戻すときは、以下の手順で操作します。

補足: カメラメニューの設定項目の初期化は、SPECIALメニューのCAMERA RESETで行います。

重要

スイッチAとスイッチBを同時に押しながらネットワーク機能またはHTMLページ、アラームメールの初期化操作は絶対に行わないでください。

ネットワーク機能の設定内容を初期化する

1. 本機の電源を切ります(ACアダプターを電源コンセントから抜きます)。
2. 本機後面のスイッチAを押しながら本機の電源をONにします(ACアダプターを電源コンセントに差し込みます)。スイッチAは電源ON後、約6秒押し続けてください。
3. 初期化は完了するまで、約10秒かかります。電源を切らずに、そのままお待ちください。
   初期化が完了したら、ネットワーク機能を再設定してください。

以下の方法で初期化することもできます。

1. 本機後面のスイッチAと側面の上ボタン、下ボタン3つを同時に6秒以上押し続けます。
2. 初期化は完了するまで、約10秒かかります。電源を切らずに、そのままお待ちください。
   初期化が完了したら、ネットワーク機能を再設定してください。

補足: 初期化後、ネットワーク環境を再設定しても本機にアクセスできないときは初期化に失敗している可能性があります。再度初期化してください。

HTMLページ、アラームメールの内容を初期化する

1. 本機の電源を切ります(ACアダプターを電源コンセントから抜きます)。
2. 本機後面のスイッチBを押しながら本機の電源をONにします(ACアダプターを電源コンセントに差し込みます)。スイッチBは電源ON後、約6秒押し続けてください。
3. 初期化は完了するまで、約10秒かかります。電源を切らずに、そのままお待ちください。初期化が完了したら、ネットワーク機能を再設定してください。

以下の方法で初期化することもできます。

1. 本機後面のスイッチBと側面の上ボタン、下ボタン3つを同時に6秒以上押し続けます。
2. 初期化は完了するまで、約10秒かかります。電源を切らずに、そのままお待ちください。
   初期化が完了したら、PCから本機にアクセスし、HTMLページが正しく表示されるか確認してください。

補足: 初期化後、ネットワーク環境を再設定しても本機にアクセスできないときは初期化に失敗している可能性があります。再度初期化してください。

設置上のお願い

設置時、以下のことをお守りください。

・**湿気やほこりの多い場所に設置しないでください。**

内部の部品がいたみやすくなり、故障の原因となることがあります。

・**落としたり、強い衝撃を与えないでください。**

故障の原因となることがあります。

・**電波障害について**

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界の近く（モータやトランスなど）では、映像が曲がったりすることがあります。このような場合は、専用の薄電線管を設けてカメラケーブルを通線してください。

・**接続ケーブル(映像ケーブル、LANケーブルなど)は電灯線などに近づけて配線しないでください。**

・**ネットワーク接続について**

本機のネットワーク端子を使い、ネットワークに接続するときは、以下の注意が必要です。

・ネットワークが雷の影響を受けないように配線・設置してください。
対策例: ハウジング内部で光メディアコンバーターで10BASE-F / 100BASE-FXに変換し、光ケーブルで配線する。
補足: 光メディアコンバーターなどの大きさにより使用できるハウジングに制限があります。受信側の機器が10BASE-F/100BASE-FXに対応している必要があります。

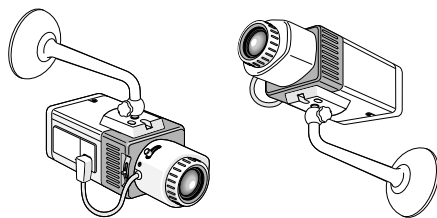
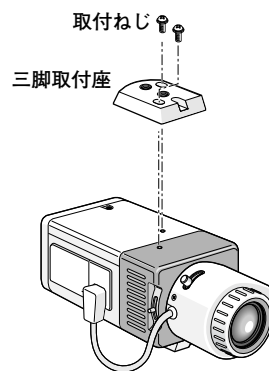
・回転台と組み合わせて使用することはできません。

設置例

カメラ取付台（別売品）を使用した設置例です。

カメラ取り付け用ねじ穴（1/4-20 UNC）を使って、三脚取付座をカメラの上部、下部に付け換えることにより、次のような取り付けができます。

三脚取付座の上下を付けかえるときは、外した取り付けねじを使用してください。長さの違うねじを使用すると、落下や故障の原因となります。

・**壁面への取付例**

・**三脚取付座の付けかえ**

・カメラの重量に十分耐えられる場所に取り付けてください。

・取付場所の材質により、取り付けかたが異なります。カメラ取付台の固定に木ねじは使用しないでください。

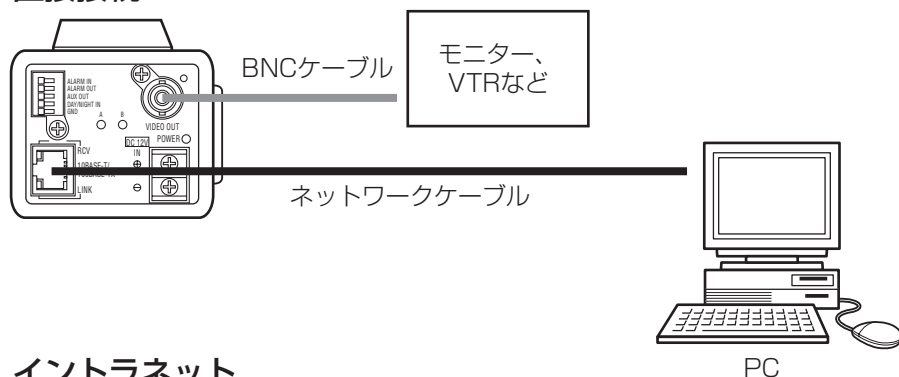
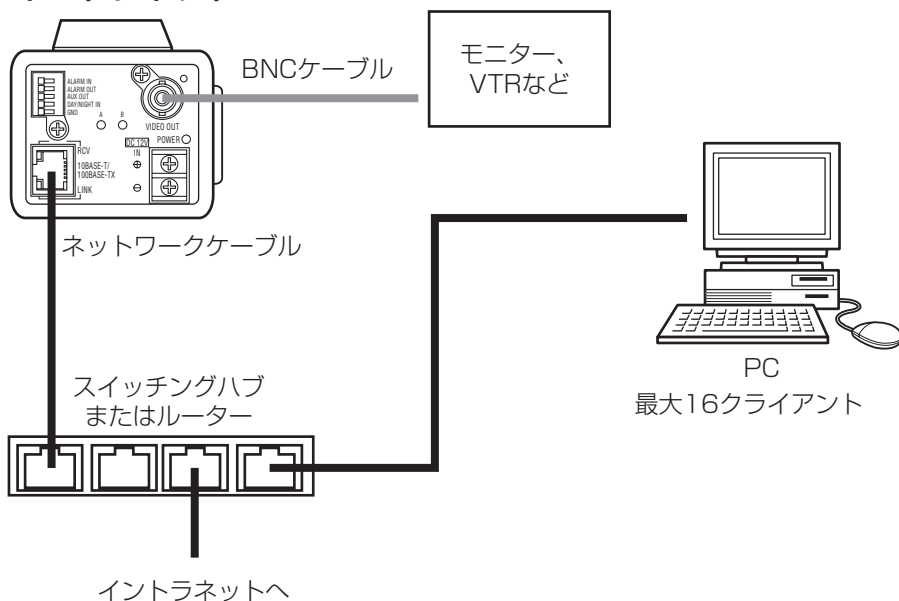
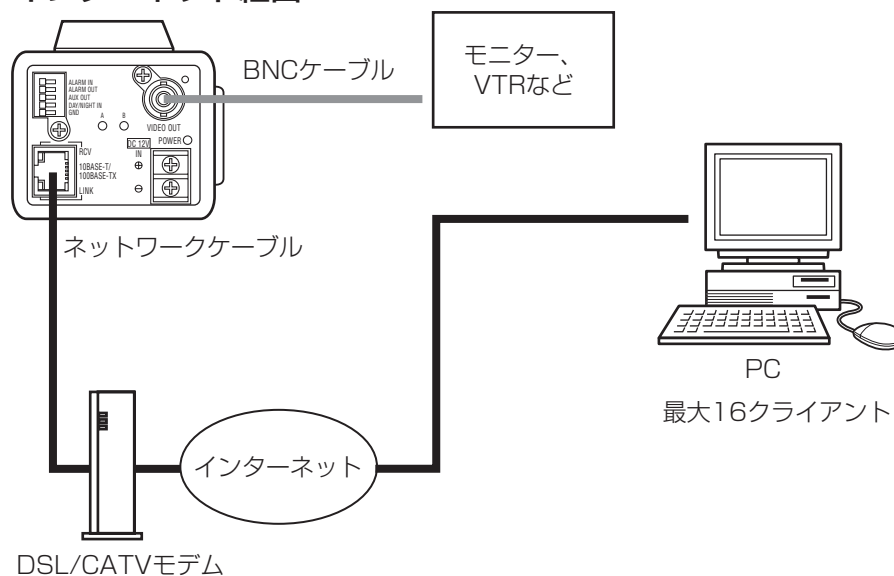
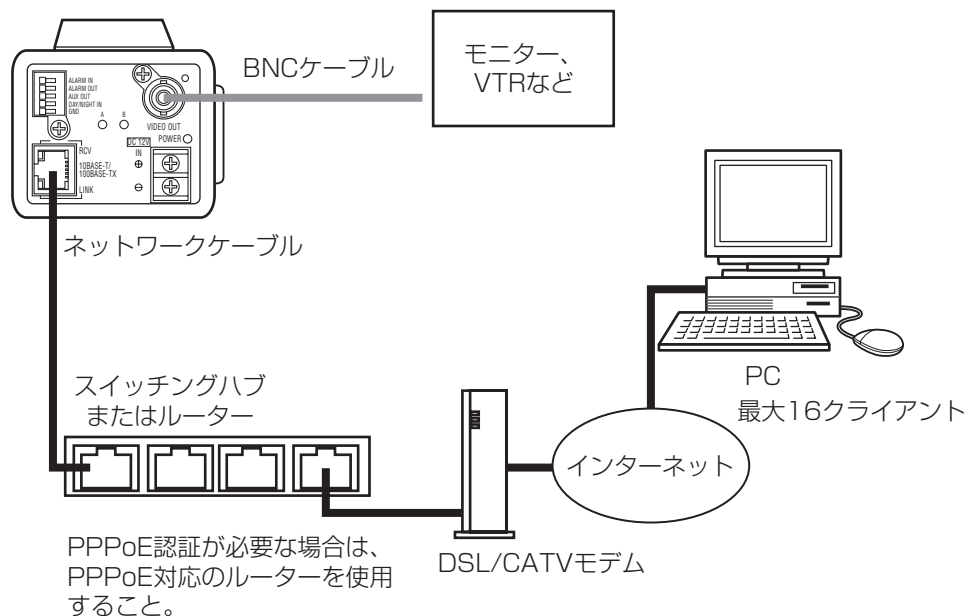
鋼材の場合: M6またはM8のボルトナットで固定。

コンクリート壁の場合: M6またはM8のアンカーボルトまたはパナソニック電工株式会社製のAYプラグボルトで固定。

工事説明(販売店向け)

接続例

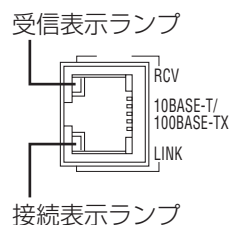
本機を複数台使用する場合は、スイッチングハブまたはルーターを使用してください。本機はPPPoEには対応していません。インターネットにPPPoEで接続する場合は、PPPoE対応のルーターを使用してください。

直接接続

イントラネット

インターネット経由

本機はPPPoEに対応しておりません。
PPPoE接続する場合は、PPPoE対応のルーター使用してください。

DC電源について

DC12V電源は専用のACアダプター(WV-PS13: 別売り)を使用してください。

補足: WV-PS13以外の電源を使用する場合は、本機側に、付属の圧着端子を取り付け、外れないように固定してください。

ネットワーク端子について

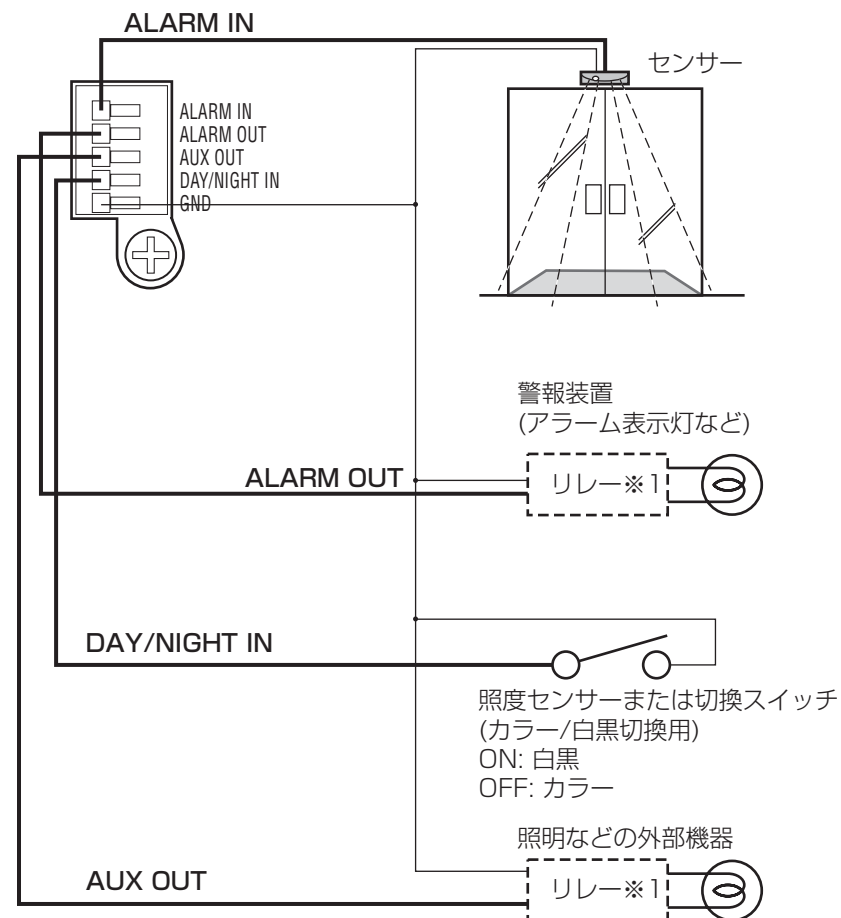
LANやインターネットなどのネットワークに接続すると、PCで本機で撮影した画像を見ることができます。10Base-Tまたは100Base-TXに対応したネットワークケーブル(カテゴリ5)を別途ご用意ください。

映像出力端子について

同軸ケーブル(BNCプラグ付き、5C-2V以上推奨)を別途ご用意ください。

モニターやVTRなどの映像機器に画像を表示・録画できます。

補足: 映像出力端子とネットワーク端子は同時に使用できます。映像出力端子にデジタルディスクレコーダーなどのVTRを接続すれば、ネットワークに接続したPCで本機をコントロールしながら、見ている映像と同じ画像を録画することができます。

外部端子について

外部端子の使用例

※1: リレーは必要に応じて取り付ける。

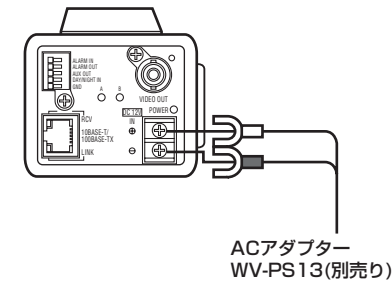
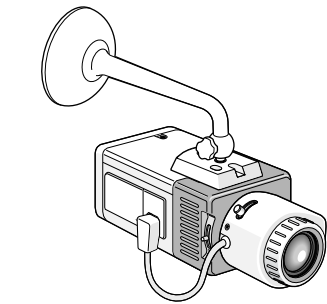
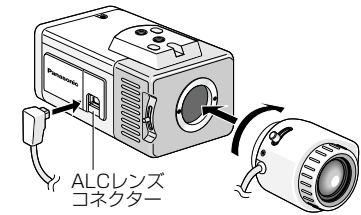
外部端子の定格

端子名	定　格	備　考
ALARM IN	DC 3.3V Pull Up入力, 0.4mA以上 OFF: オープンまたは DC 2 V～DC 12V ON: GNDとのショート	
ALARM OUT	コレクタ出力(内部プルアップ), ラッチ/パルス OFF: オープンまたは DC 4V～DC 5V ON: GNDとのショート 50 mA以下	ネットワーク固有設定(PC)で選択可能
AUX OUT	コレクタ出力(内部プルアップ) OFF(High): オープンまたは DC 4V～DC 5V ON(Low): GNDとのショート 50 mA以下	ネットワーク固有設定(PC)で選択可能
DAY/NIGHT IN	DC 5 V プルアップ入力、0.2 mA以上 OFF(カラー): オープン ON(白黒): GNDとのショート	この端子でカラー/白黒を切り換える場合は、SPECIALメニューのBWで、EXTを選択します。

補足: センサーなどの外部機器の定格が、本機の定格に適合するか確認してください。

接続のしかた

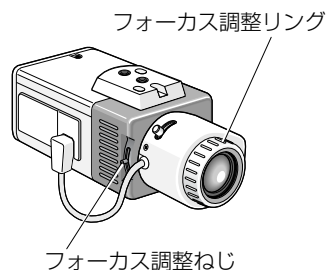
接続手順

重要!: 取り付け作業は、電源を切った状態で行ってください。また、ネットワークに接続して使用する場合は、ネットワークアドレスを設定してください。

1. レンズをゆっくり時計方向に回して取り付け、レンズケーブルをカメラのALCレンズコネクターに接続します。
2. コネクターの違うレンズを取り付けるときはレンズコネクターを別売りのALCコネクターに付け換えてください。
3. 設置場所にカメラ取付台を固定し、カメラを取り付けます。

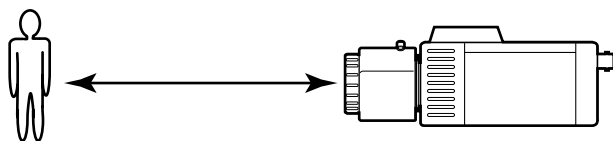
   カメラ取付台の固定ねじは、取付場所の材質に合わせて調達してください。
4. 接続のしかたを参照し、本機を接続します。
5. ACアダプター(WV-PS13: 別売り)を電源端子に接続します。

   補足:

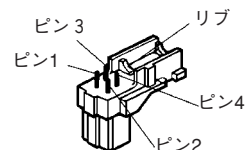
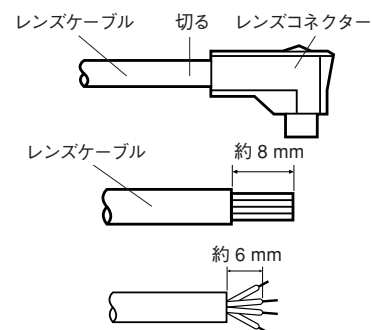
   ・カメラを旋回したとき電源コードに荷重がかからないように取り付けてください（荷重がかかると電源コードが外れ、映像が映らなくなる原因となります)。

   ・WV-PS13以外の電源を使用する場合は、本機電源端子側に付属の圧着端子を取り付け、カメラ本体に確実に取り付けてください。

6. PCまたはモニターを見ながら、フォーカス調整リングでピントを合わせます。

補足:
- ・フォーカス調整リングがないレンズを使用する場合は、フォーカス調整ねじでピントを合わせます。調整後はフォーカス調整ねじを締め付けてください。
  (締付トルク：0.05 N·m{0.5 kg·cm})
- ・フォーカス調整ねじを強く締め付けすぎると、ねじ山がつぶれたり、フォーカスずれの原因となります。

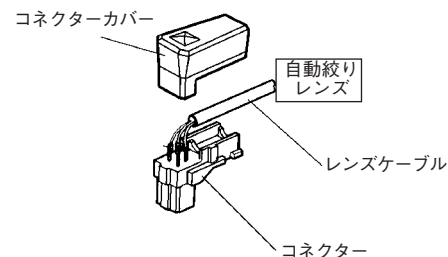
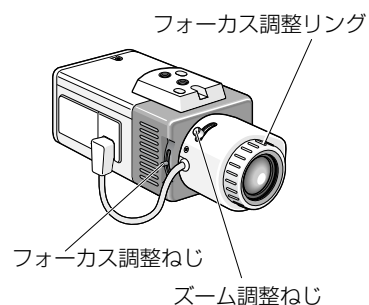
補足: ピントの合わせかた

- ・自動絞りレンズを使い、被写体を映す場合、レンズ自体の焦点深度の関係で、絞りの状態により、初めに合わせたピントが若干狂いピンボケになることがあります。
  このようなときは写真を撮る要領で、被写体をできるだけ暗くして絞りが開いた状態でピントを合わせるとピンボケを防ぐことができます。
- ・近赤外光領域では、可視光領域に比べてピントが甘くなる場合があります。

ALCコネクターの付け換え(レンズコネクターが合わない場合)

ALCレンズを使用する場合で、コネクターの形状が本機と一致しない場合、次の手順で別売りのコネクターに付け換えてください。

1. レンズケーブルを切り離します。
2. レンズケーブルの切り口から約8 mmの所で外皮を切り取り、芯線の被覆部を約6 mm残して切り取ります。

3. 芯線を別売りのALCコネクターのピンに半田付けして固定します。

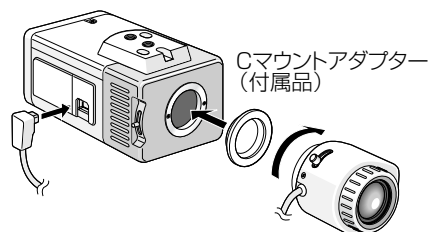
   ピン1……赤（電源）
   ピン2……使用せず
   ピン3……白（映像）
   ピン4……黒（シールド）

4. コネクターにカバーを取り付けます。

マウント切り換えとフランジバック調整

・被写体に接近したい場合や、焦点距離を少し変えたい場合には、レンズのズーム調整ねじで画角を調整します。

画角調整後、フォーカス調整リングでピントを合わせます。

レンズにフォーカス調整リングがない場合は、カメラのフォーカス調整ねじをゆるめて、ピントを合わせます。調整後は、フォーカス調整つまみを元どおりに締め付けます。

補足: フォーカス調整ねじを強く締め付けすぎると、ねじ山がつぶれたり、フォーカスずれの原因となります。

・Cマウントレンズをご使用の場合は、Cマウントアダプター(付属品)を取り付けてください。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状をお確かめください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原因・対策	参照ページ
映像が表示されない	ACアダプター(別売り)の電源コードは本機に接続されていますか？	100, 103
	ACアダプター(別売り)は、コンセントに確実に差し込まれていますか？	100,103
	レンズキャップは外しましたか？	−
	映像ケーブルまたはネットワークケーブルは正しく接続されていますか？	98〜100
ブラウザーからアクセスできない	ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？	98〜100
	ネットワーク端子の接続表示ランプは点灯していますか？ 点灯していない場合は、ネットワークに正しく接続されていません。または接続先のネットワークが正常動作していません。 ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	100
	本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	14〜31

症　状	原因・対策	参照ページ
ブラウザーからアクセスできない	間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ DOSプロンプト画面で次のコマンドを入力し、接続を確認してください。 > ping「本機に設定したIPアドレス」 入力したIPアドレスに機器が接続されている場合、Replyメッセージが表示されます。Replyメッセージが表示されない場合、本機またはPCのネットワーク設定に誤りがあります。再設定してください。	14〜31
HTML文書が表示されない	本機に内蔵されているHTMLページが壊れている場合があります。 HTMLを初期化してください。	95

仕様・その他

仕様

基本仕様

電源	DC 12 V(別売りのACアダプターWV-PS13から供給)
消費電力	約700 mA
使用温度範囲	−10 ℃〜+50 ℃
使用湿度範囲	90 %以下
寸法	幅 70 mm × 高さ 65 mm × 奥行き 118 mm (突起部、レンズ除く)
質量	約510 g
仕上げ	レンズ取付部: ブルーメタリック半艶塗装(マンセル5 PB 6/4近似色) ボディ: 0Aアイボリー(マンセル8.0Y7.8 / 0.8近似色)
映像出力	VBS 1.0 V[p-p]/75Ω, コンポジット信号, BNCコネクター
ネットワーク	10 Base-T/100 Base-TX, RJ45コネクター
外部端子	アラーム入力, アラーム出力, AUX出力, 昼夜(カラー/白黒)切換, 各1端子

ネットワーク部

画像解像度	640×480, 640×240, 320×240, 160×120 ピクセル
画像圧縮方式	JPEG(Super Fine/Fine/Normal/Rough)
画像更新速度	Fast/Middle/Slow/Very slow
配信量制御	32 Kbps, 64 Kbps, 128 Kbps, 256 Kbps, 512 Kbps, 1024 Kbps, 2048 Kbps、制限なし　1K=1024
対応プロトコル	TCP/IP, HTTP, FTP, SMTP, DHCP, DNS
対応OS	Microsoft® Windows® operating system 98 Second Edition, Windows NT®4.0, 2000, Millennium Edition(ME), Experience(XP)
対応ブラウザー	Microsoft® Internet Explorer 5.01 Service Pack2, 5.5, 5.5 Service Pack2, 6.0 Netscape® Communicator 4.73, 4.78

カメラ部

撮像素子	1/3型　インターライン転送方式CCD
有効画素数	771（H）× 492（V）
走査面積	4.83 mm（H）× 3.64 mm（V）
走査方式	2:1インターレス
走査周波数	水平：15.734 kHz　垂直：59.94 Hz
同期方式	内部同期（INT）, 多重VD同期（VD2）
解像度	水平：570本以上（白黒モード), 480本以上（カラーモード), 垂直：350本以上（中心部)
最低照度	白黒モード時：0.1 lx（F1.4)、カラーモード時：0.8 lx（F1.4）
S / N	50 dB　※AGC OFF時
Dレンジ	46dB typ.
レンズマウント	CSマウント（Cマウントアダプター付属）
ALC駆動	DC駆動 / Video 駆動切換

機能

カメラタイトル	最大16文字表示（アルファベット,カタカナ,数字,記号）
光量制御	ALC / ELC
SUPER-DⅡ	ONモード / OFFモード
電子シャッター	OFF(1/60), 1/100, 1/250, 1/500, 1/1 000, 1/2 000, 1/4 000, 1/10 000
AGC	ON(DNR-H)/ON(DNR-L)/OFF
電子感度アップ	OFF, X2 AUTO, X4 AUTO, X6 AUTO, X10 AUTO, X2 FIX, X4 FIX, X6 FIX, X10 FIX, X16 FIX, X32 FIX
同期方法	INT(内部同期)/VD2自動切換
ホワイトバランス	ATW1/ATW2/AWC
モーションディテクター	ON/OFF
レンズドライブ	DC / VIDEO
メール通知	可能(画像添付可能)
アラーム画像録画	可能(マルチショット録画, Before/After)
FTP	設定アドレスに画像転送可能
時計機能	あり

保証とアフターサービス よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間

当社は、このカラーテレビカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注） 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

108、109ページに従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源を切り、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容	
品　名	カラーテレビカメラ
品　番	WV-NP472
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に

■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック株式会社　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ）　受付：9時～18時（土・日・祝日除く）

ホームページからのお問い合わせは　http://panasonic.biz/pss/info

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

パナソニック株式会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバー・ディスプレイを採用しています。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　月　　日	品番	WV-NP472
販 売 店 名	電話　（　　　）　　－		

パナソニック株式会社
システムソリューションズ社
〒223-8639　横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

3TR001280GAB
N1002-6108